

# フェリス女学院大学学則

## 第1章 目的及び使命

(目的及び使命)

**第1条** 本学は、キリスト教を教育の基本方針となし、学問研究及び教育の機関として、女子に高度の教育を授け、専門の学問を教授研究し、もって真理と平和を愛し、人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的とする。

### 第1章の2 自己点検・評価

(自己点検・評価)

**第1条の2** 本学の設置目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、不断の自己点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 本学は、前項の自己点検及び評価の結果について、本学の職員以外の者による検証を行うよう努める。

3 自己点検・評価に関し必要な事項は、別に定める。

## 第2章 組織及び学生収容定員

(組織)

**第2条** 本学に次の学部・学科を置く。

- (1) 文学部 英語英米文学科 日本語日本文学科 コミュニケーション学科
- (2) 音楽学部 音楽芸術学科
- (3) 国際交流学部 国際交流学科

(学部の教育研究目的)

**第2条の2** 各学部の教育研究目的は、次のとおりとする。

(1) 文学部

人文科学の領域に関する高度の教育研究を行い、多様化する社会で他者と共生し、主体的に表現できる豊かな素養を身に付けた人材を養成する。

(2) 音楽学部

音楽の領域を中心とした高度の教育研究を行い、現代文化に対する理解を深めることにより、社会に積極的にかかわる、創造性豊かな人材を養成する。

(3) 国際交流学部

国際交流の領域に関する高度の教育研究を行い、グローバル化の時代にふさわしい、専門分野の枠を越えた総合的知識を身に付けた人材を養成する。

(学生収容定員)

**第2条の3** 学生収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	2年次 編入学定員	収容定員
文学部	英語英米文学科	90名	—	360名
	日本語日本文学科	90名	—	360名

文学部	コミュニケーション学科	90名	—	360名
	計	270名	—	1,080名
音楽学部	音楽芸術学科	75名	—	300名
国際交流学部	国際交流学科	197名	4名	800名
合計		542名	4名	2,180名

(全学教養教育機構)

**第2条の4** 本学に全学教養教育機構を置く。

2 全学教養教育機構に関し必要な事項は、別に定める。

(大学院)

**第2条の5** 本学に大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

### 第3章 授業科目

(授業科目)

**第3条** 本学の授業科目は、共通科目、専門科目及び教職に関する科目とし、その科目名及び単位数は、それぞれ別表第1、別表第2及び別表第3のとおりとする。

2 共通科目は、CLAコア科目及び語学科目とする。

(外国人留学生に関する授業科目)

**第3条の2** 前条のほか、外国人留学生を対象として別表第4のとおり日本語科目及び日本事情に関する科目を置く。

**第4条から第8条まで** 削除

### 第4章 履修方法、単位及び卒業の認定

(修業年限)

**第9条** 本学の修業年限を4年とする。

(在学期間)

**第9条の2** 在学期間は、8年を超えることができない。

2 第25条の2に規定する2年次編入学生の在学期間は、6年を超えることができない。

3 第25条の3に規定する3年次編入学生の在学期間は、4年を超えることができない。

(履修希望科目の届出)

**第10条** 学生は、毎学期始めに履修希望の授業科目を学部長に届け出て、その承認を受けなければならない。

2 休学期間中は、履修希望科目の届出はできない。

3 留学期間中は、履修希望科目の届出はできない。ただし、留学を終了した学期に願い出た者について、この届出を許可することがある。必要な手続及び条件については、別に定める。

(他学部他学科専門科目の履修)

**第11条** 学生は、他学部他学科の専門科目を履修することができる。

(単位認定試験)

**第12条** 単位の認定は、平常点評価及び試験によって行う。ただし、卒業論文、卒業レポート、

卒業論文・卒業制作、卒業演奏、卒業研究及び卒業プロジェクトの単位の認定は審査によって行うものとし、必要に応じ、口頭試問を併せて行うことができる。

(受験資格)

**第13条** 学生は、履修授業科目について3分の2以上出席しなければ、当該授業科目の試験を受けることができない。

(単位の授与)

**第14条** 授業科目の到達目標を達成した者には、所定の単位を与える。

(入学前の既修得単位等の認定)

**第14条の2** 学生が入学前に修得した次の単位等については、教授会の定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得した単位とみなし、又は与えることができる。

- (1) 大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位
- (2) 短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が大学教育に相当する水準を有すると認めた教育施設等における学修で本学が大学における授業科目の履修とみなした学修

2 前項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、合わせて60単位を超えないものとする。

(他の大学等における授業科目の履修)

**第14条の3** 本学の学生が他の大学等において修得した次の単位等については、教授会の定めるところにより、本学における授業科目の履修により修得した単位とみなし、又は与えることができる。

- (1) 他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位
- (2) 短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が大学教育に相当する水準を有すると認めた教育施設等における学修で本学が大学における授業科目の履修とみなした学修

2 前項第1号の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、本学において修得した単位以外のものについては、前条により本学において修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(成績評価)

**第15条** 授業科目の成績は、S、A、B、C、F、又は合格、不合格の7種類の評語をもって表わし、S、A、B、C、又は合格を合格とする。

(単位)

**第16条** 授業科目の単位の計算方法は、次の基準によるものとする。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実技、実習及び実験については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、音楽学部における個人指導による実技については、別に定

める。

### 第17条 削除

(卒業の要件)

第18条 卒業資格の認定を得るためには、本学に4年以上在学し、別表第5に定めるところにより卒業に必要な単位を修得しなければならない。

(廃止科目等の取扱い)

第18条の2 第3条関係別表第1、別表第2及び別表第3に定める授業科目のほか、学生が既に履修した授業科目の科目名及び修得した単位数については、なおその効力を有する。

(外国人留学生の卒業の要件)

第18条の3 外国人留学生については、第18条の要件に加え、次の各号の要件を満たさなければならない。

(1) 第3条の2に定める日本語科目 第18条関係別表第5の語学科目に代えて 10単位

(2) 第3条の2に定める日本事情に関する科目 4単位

2 前項第1号に定める科目は語学科目とみなす。

3 第1項第1号については、そのうち2単位は、学部の指定する授業科目を修得することにより代えることができる。

4 文学部英語英米文学科の外国人留学生については、第1項第1号に加え英語科目12単位又は20単位を必修とする。

(教育職員免許状)

第19条 教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）に定める単位を修得しなければならない。

2 本学において取得できる免許状の種類は、次のとおりとする。

免許状の種類	免許教科	学部・学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語	文学部 英語英米文学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国 語	文学部 日本語日本文学科
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	音 楽	音楽学部 音楽芸術学科
中学校教諭一種免許状	社 会	国際交流学部 国際交流学科
高等学校教諭一種免許状	地理歴史	国際交流学部 国際交流学科
高等学校教諭一種免許状	公 民	国際交流学部 国際交流学科

(日本語教員養成講座)

第19条の2 本学に日本語教員養成講座を置く。

2 前項の講座に関し必要な事項は、別に定める。

## 第5章 卒業及び学位の授与

(卒業及び学位授与)

**第20条** 第18条の規定により教授会の議を経て、卒業資格の認定を受けた者には、学長が卒業を決定し、学士の学位を授与する。

2 学位の授与に関する規則は、別に定める。

**第21条** 削除

**第6章** 学年、学期及び休業日

(学年及び学期)

**第22条** 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学年を分けて、次の2学期とする。

前期 4月1日から 9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(授業期間)

**第22条の2** 授業を行う期間は、前期と後期を合わせて年間35週とする。

(休業日)

**第23条** 休業日は、次の各号に掲げるところによる。ただし、学長は、授業の都合等により、これを変更することができる。

(1) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(2) 日曜日、土曜日

(3) 開学記念日 6月1日

(4) 夏季休業日 8月1日から 9月20日まで

(5) 冬季休業日 12月22日から 1月10日まで

(6) 春季休業日 3月16日から 3月31日まで

(7) 臨時休業日については、学長がその都度定める。

**第7章** 入学、留学、休学、退学等

(入学時期)

**第24条** 学生の入学時期は、学年の始めとする。ただし、教授会が十分な理由があると認めるときには、教育上支障がない限り、学期の始めとすることができる。

(入学資格)

**第25条** 本学の1年次に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）

(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準

を満たすものに限る。) で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの  
(2年次編入学)

**第25条の2** 本学の2年次に編入学(転入学を含む。)することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者又は学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 大学に1年以上(休学期間を除く。)在学し、30単位以上を修得した者
- (5) 学校教育法第132条に規定する専修学校の専門課程を修了した者
- (6) 学校教育法第58条の2に規定する高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)の専攻科の課程を修了した者
- (7) 外国において、学校教育における14年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を修了した者(日本における外国の大学又は短期大学相当として文部科学大臣が指定した外国の学校を含む。)

2 第2条の3に規定するもののほか、本学への2年次編入学を願い出た者については、欠員のある場合に限り、選考の上、学長がこれを許可する。

3 前2項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

(3年次編入学)

**第25条の3** 本学の3年次に編入学(転入学を含む)することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者又は学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 大学に2年以上(休学期間を除く。)在学し、62単位以上を修得した者
- (5) 学校教育法第132条に規定する専修学校の専門課程を修了した者
- (6) 学校教育法第58条の2に規定する高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)の専攻科の課程を修了した者
- (7) 外国において、学校教育における14年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を修了した者(日本における外国の大学又は短期大学相当として文部科学大臣が指定した外国の学校を含む。)

2 本学への3年次編入学を願い出た者については、欠員のある場合に限り、選考の上、学長がこれを許可する。

3 前2項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

(出願)

**第26条** 本学への入学を志願する者は、所定の期限までに、志願手続（出願登録）を行い、出身学校の調査書等出願資格を証明する書類その他別に定める書類を提出するとともに、入学検定料を納入しなければならない。

(入学者の選抜)

**第26条の2** 入学志願者に対しては、学力検査等選抜を行い、教授会及び大学評議会の議を経て、学長が合格者を決定する。

2 選抜の方法、時期については、教授会が定める。

(入学手続)

**第26条の3** 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、所定の期限までに、入学手続金を納入しなければならない。

2 入学手続金については、第36条第1項に定めるところによる。

(宣誓)

**第26条の4** 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、所定の宣誓をしなければならない。

2 本学への入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、所定の期限までに、指定された手続を済ませ、次に掲げる書類を提出しなければならない。

(1) 保証人連署の誓約書

(2) 住民票記載事項証明願（本学所定）

(3) 卒業証明書又は修了証明書（卒業見込み又は修了見込みで出願した者に限る。）

(4) その他必要な書類

(入学の決定)

**第26条の5** 学長は、前2条の手続を行った者について、入学を決定するものとする。

2 学長は、前2条の手続を行わない者の入学を取り消すことができる。

(保証人)

**第27条** 保証人は、父母又は独立の生計を営む者で、確実に保証人としての責任を果たし得る者でなければならない。

2 保証人は、保証する学生の在学中、その一身上に関する事項について一切の責務を負うものとする。

3 保証人が何らかの事由によって責務を果たし得ない場合又は保証人を変更しようとする場合には、新たに保証人を選定して届け出なければならない。

4 本学が保証人として不適当と認めたときは、その変更を命ずることができる。

(転居、改姓の届出)

**第28条** 学生又は保証人が転居、改姓したときは、その旨を速やかに届け出なければならない。

(留学)

**第28条の2** 外国の大学に留学を志願する者は、所定の手続により、許可を得て留学することができる。

2 留学の期間は、1年を限度として第9条の2に定める在学期間として扱う。

3 留学に関し必要な事項は、別に定める。

(休学)

**第29条** 病気その他やむを得ない理由により修学することができない者は、保証人連署の上、所定の期日までに願い出て、1学期又は1年を区分として休学することができる。

2 校医の診断に基づき病気のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は、休学を命ずることができる。

(休学期間)

**第29条の2** 休学できる期間は、1年を超えることができない。ただし、特別の事情がある者は、学長の許可を得て、なお1年以内の休学をすることができる。

2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学期間は、第9条の2の在学期間に算入しない。

(出席停止)

**第30条** 学長は、感染症にかかった学生又はそのおそれのある学生に対して、出席停止を命ずることができる。

(出席停止期間)

**第30条の2** 出席停止期間は、学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号）第19条の規定に準じて、学長が決定する。

(転学部及び転学科)

**第31条** 所属する学部、学科から他の学部、学科に転学部、転学科を願い出た者については、選考の上、これを許可することがある。

2 転学部、転学科に関し必要な事項は、別に定める。

**第32条** 削除

(退学)

**第33条** 退学しようとする者は、保証人連署の上、願い出なければならない。ただし、退学する日を含む学期の授業料等学納金を納入していなければならない。

(除籍)

**第34条** 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍する。

- (1) 第9条の2に定める在学期間を超えて卒業資格を得られない者
- (2) 学生納付金の納入を怠り、督促してもなお納入しない者
- (3) 第29条の2第2項に定める休学期間を超えてなお復学できない者
- (4) 死亡した者
- (5) 長期間にわたり行方不明の者

(再入学)

**第34条の2** 本学を退学した者又は本学から除籍を受けた者が再入学を願い出たときは、選考



の上、これを許可することがある。ただし、前条第1号により除籍を受けた者は、再入学を願  
い出ることにはできない。

2 再入学に関し必要な事項は、別に定める。

(学籍の異動に係る決定)

**第34条の3** 留学、休学、復学、転学、除籍及び再入学については、教授会の意見を参酌した  
上で、学長が決定する。

#### **第8章 入学検定料、学生納付金**

(入学検定料)

**第35条** 入学検定料の額は、別表第6に定めるところによる。

2 入学検定料を減免することがある。

3 前2項のほか、入学検定料の取扱いに関し必要な事項は、別に定める。

(入学手続金)

**第36条** 入学の許可を受けた者で本学に入学する者は、本学が定める期間内に、入学金及び入  
学年度前期分の授業料等学納金(以下「学納金」という。)を納入しなければならない。

2 前項の規定に従って入学金及び学納金を納入した者が、入学以前の本学が定める期日までに  
入学辞退を申し出た場合は、既に納めた学納金を返還するものとする。ただし、入学金は返還  
しない。

(学納金)

**第36条の2** 学生は、学期ごとに当該学期分の学納金を、前期分については4月、後期分につ  
いては10月に納入しなければならない。

2 学生は、学納金のうち施設設備費については、入学した年度から在学する8学期間(2年次  
編入学生にあっては6学期間、3年次編入学生にあっては4学期間)納入するものとする。

(留学者及び休学者の扱い)

**第36条の3** 第28条の2第1項の規定により本学から外国の大学に留学する者(以下「留学者」  
という。)は、本学が定める期間内に、所定の授業料及び施設設備費を納入しなければならない。  
い。

2 第29条の規定により休学する者(以下「休学者」という。)は、本学が定める期間内に、所定  
の在籍料を納入するものとし、休学期間中は施設設備費の納入を必要としない。ただし、休学  
者は、復学後、前条第2項に定められた残りの施設設備費を本学が定める期間内に納入しなけ  
ればならない。

(納付額)

**第36条の4** 前3条の額は、別表第7に定めるところによる。

(編入学生の学生納付金)

**第36条の5** 編入学生の入学金及び学納金は、編入学する年次の額を適用する。

(再入学生の学生納付金)

**第36条の6** 第34条の2第1項の規定による再入学を願ひ出る者の入学検定料は、再入学を希  
望する年度の入学検定料の2分の1の額とする。

2 再入学の許可を受けた者の入学金は、再入学する年度の入学金の2分の1の額とし、学納金

は、再入学する年度の1年次生に適用する額とする。

- 3 退学又は除籍以前の在学期間が第9条に規定する修業年限を超えている者については、学納金のうち施設設備費は、納入を必要としない。

(納入方法等)

**第37条** 第35条から前条までに定めるもののほか、学生納付金の額、納入方法等は、別に定める。

- 2 いったん納めた学生納付金は、別に定める場合を除き、返還しない。

## **第9章 教職員組織**

(教職員組織)

**第38条** 本学に学長、副学長を置く。

- 2 本学に次の教職員を置く。

教授

准教授

助教

講師

助手

副手

事務職員

医療職員

- 3 学長、副学長及び教職員の職務は、学校教育法その他法令の定めるもののほか、別に定めるところによる。

## **第10章 教授会及び大学評議会**

(教授会)

**第39条** 本学の各学部教授会を置き、各学部所属する専任教員をもって構成する。

- 2 教授会に関し必要な事項は、別に定める。

(大学評議会)

**第39条の2** 本学に大学評議会を置く。

- 2 大学評議会に関し必要な事項は、別に定める。

## **第11章 削除**

**第40条** 削除

## **第12章 図書館、研究施設及びセンター**

(附属図書館)

**第41条** 本学に附属図書館を置く。

- 2 附属図書館に関し必要な事項は、別に定める。

(教育研究施設)

**第42条** 本学に教育研究施設を置くことができる。

- 2 教育研究施設に関し必要な事項は、別に定める。

(センター)

**第42条の2** 本学に教育・研究の特定分野を所管する附属のセンターを置くことができる。

2 センターに関し必要な事項は、別に定める。

### **第13章 科目等履修生、交流学生、外国人留学生及び交換留学生**

(科目等履修生)

**第43条** 学長は、本学学生でない者で本学所定の授業科目の履修を希望する者については、選考の上、科目等履修生として履修を許可することができる。

2 前項の許可を受けようとする者は、所定の手続により、選考料を添えて学長に願い出なければならない。

3 科目等履修生として履修を許可された者は、所定の期日までに登録料・施設設備利用料及び受講料を納入しなければならない。ただし、履修する科目について単位の認定を希望する者は、単位認定料を併せて納入しなければならない。

4 前2項の額は、別表第8に定めるとおりとする。

5 既に納めた選考料、登録料・施設設備利用料、受講料及び単位認定料は、いかなる理由にかかわらず返還しない。

6 前各項に定めるもののほか、科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(交流学生)

**第43条の2** 学長は、本学と協定のある日本国内の他の大学に在籍する学生で本学所定の授業科目の履修を希望する者については、選考の上、交流学生として履修を許可することができる。

2 前項の許可を受けようとする者は、所定の手続により、学長に願い出なければならない。

3 前2項に定めるもののほか、交流学生に関し必要な事項は、別に定める。

(外国人留学生)

**第44条** 学長は、外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者については、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。

2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

(交換留学生)

**第44条の2** 学長は、本学と協定のある外国の大学の学生については、交換留学生として入学を許可することができる。

2 交換留学生に関し必要な事項は、別に定める。

### **第14章 公開講座**

(公開講座)

**第45条** 本学に、公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

### **第15章 削除**

**第46条** 削除

### **第16章 学内諸施設**

(厚生施設)

**第47条** 本学に保健室等必要な厚生施設を置く。

(寄宿舎)

**第48条** 本学に寄宿舎を置くことができる。

2 寄宿舎に関し必要な事項は、別に定める。

(体育館)

**第48条の2** 本学に体育館を置く。

2 体育館に関し必要な事項は、別に定める。

(その他の厚生施設)

**第49条** 前3条に定めるもののほか、大学に必要な厚生施設を置くことができる。

#### **第17章 奨学金**

(奨学金)

**第49条の2** 本学に奨学金制度を設け、学業成績、人物ともに優秀な者又は経済的理由により修学困難な者に対しては、選考の上、学長が奨学金の授与を決定する。

2 奨学金に関し必要な事項は、別に定める。

#### **第18章 賞罰**

(表彰)

**第50条** 学生としての本分を全うし、特に他の模範となると認められる者があるときは、これを表彰する。

2 表彰に関し必要な事項は、別に定める。

(懲戒)

**第51条** 本学の学則及び訓育の趣旨に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、これを懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者について行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学業劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由がなくて出席常でない者

(4) 学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

4 学生の処分に関し必要な事項は、別に定める。

(賞罰の決定)

**第51条の2** 前2条に規定する賞罰は、教授会の意見を参酌した上で、学長が決定する。

#### **第19章 雑則**

(その他の事項)

**第52条** この学則に定めるもののほか、本学の教育研究に関し必要な事項は、学長が決定する。

2 前項により決定した教育研究に関わる事項は、学長発信をもって大学教職員に周知するものとする。

(学則の改正)

**第53条** この学則の改正は、教授会及び大学評議会の議を経て、理事会の承認を得て行うものとする。

#### **附 則**

この規則は、公布の日から施行し、昭和40年4月1日から適用する。

**附 則**

この規則は、公布の日から施行し、昭和42年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和48年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和49年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和50年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和51年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和52年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和53年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和54年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和55年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和56年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和57年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和59年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和60年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、公布の日から施行し、昭和61年4月1日から適用する。

**附 則**

本学則は、昭和62年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず昭和62年度から平成7年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	140
国文学科	140
計	280

**附 則**

本学則は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず昭和63年度から平成2年度までの間の国際文化学科の総定員は、次のとおりとする。

年度 学科	昭和63年度	平成元年度	平成2年度
国際文化学科	80名	160名	240名

**附 則**

- 1 本学則は、1989年4月1日から施行する。ただし、第14条の2については、1988年4月1日から適用する。
- 2 第40条の規定にかかわらず平成元年度から平成3年度までの間の音楽学部の総定員は、次のとおりとする。

年度 学部 学科	平成元年度	平成2年度	平成3年度
音楽学部	名	名	名
声楽学科	20	40	60
器楽学科	20	40	60
楽理学科	10	20	30
計	50	100	150

**附 則**

本学則は、1990年4月1日から施行する。ただし、改正後の学則第8条、第18条並びに第19条にかかわらず、1989年度以前入学生は、なお従前のとおりとする。

**附 則**

本学則は、1991年4月1日から施行する。ただし、第40条の規定にかかわらず、1991年度から1999年度までの間の音楽学部声楽学科及び器楽学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
音楽学部	名
声楽学科	30
器楽学科	40

**附 則**〔1991年5月23日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。

**附 則**〔1991年9月6日理事会決定〕

本学則は、1991年9月6日から施行する。ただし、第7条別表2のC、第18条、第37条別表4及び第43条については1992年4月1日から適用する。

**附 則**〔1992年2月27日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。ただし、第40条及び附則（昭和62年4月1日施行）の規定にかかわらず、1992年度から1999年度までの間の文学部の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員

	1992年度～1995年度	1996年度～1999年度
文学部	名	名
英文学科	155	135
国文学科	155	135
国際文化学科	95	95

**附 則**〔1992年3月24日理事会決定〕

本学則は、1992年4月1日から施行する。

**附 則**〔1992年7月13日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年4月1日から施行する。
- 2 第18条において、1992年度以前の入学生に適用する表の区分は、第3条の規定に基づき、「一般教育科目」を「共通科目」の「基礎教養科目」及び「総合課題科目」に、「保健体育科目」を「共通科目」の「基礎教養科目」に、「外国語科目」を「共通科目」の「語学科目」にそれぞれ読み替えるものとし、音楽学部の「基礎教育科目」を、「音楽学部専門科目」の該当する授業科目にそれぞれ読み替えるものとする。

**附 則**〔1992年7月13日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年3月11日から施行する。ただし、文学部国文学科の名称に関する改正規定は、1993年4月1日から施行する。
- 2 文学部国文学科は、改正後の学則の規定にかかわらず、1993年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

**附 則**〔1992年7月13日理事会決定〕

本学則は、1993年3月16日から施行する。ただし、音楽学部の教育職員免許状に関する改正規定は、1993年4月1日から施行する。

**附 則**〔1992年9月21日理事会決定〕

本学則は、1993年4月1日から施行する。

**附 則**〔1993年3月22日理事会決定〕

- 1 本学則は、1993年4月1日から施行する。
- 2 第15条の規定にかかわらず、1992年度以前入学生については、授業科目の試験の成績は、A、B、C、Fの4種類の評語をもって表わし、A、B、Cを合格とする。

**附 則**〔1993年12月20日理事会決定〕

この学則は、1994年4月1日から施行する。ただし、第3条の別表1のC及び別表2のA、B、C、第3条の2の別表4及び第18条第1項の文学部1993年度以降入学生に適用する表は、1993年4月1日から適用する。

**附 則**〔1994年5月23日理事会決定〕

この学則は、1994年5月23日から施行する。ただし、第18条第1項の文学部1991年度以前入学生及び1992年度入学生並びに音楽学部1991年度以前入学生及び1992年度入学生に適用する表中、専門教育科目の帰国子女に係る必修科目の廃止については、1994年4月1日から適用する。

**附 則**〔1994年10月24日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

**附 則**〔1995年2月28日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

**附 則**〔1995年3月27日理事会決定〕

この学則は、1995年4月1日から施行する。

**附 則**〔1995年5月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、1996年4月1日から施行する。ただし、改正後の第37条関係別表5-1に規定する入学検定料の額は、1996年度入学試験から適用する。
- 2 改正後の第2条の2及び附則（1992年4月1日施行）の規定にかかわらず、1996年度から1999年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	155
日本文学科	155

- 3 1992年度以前入学者の卒業に必要な単位数は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**〔1995年5月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、1997年4月1日から施行する。
- 2 文学部国際文化学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、1997年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 改正後の第2条の2の規定にかかわらず、1997年度から1999年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科並びに国際交流学部国際交流学科の入学定員は、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員
文学部	名
英文学科	135
日本文学科	145
国際交流学部	
国際交流学科	155

- 4 1993年度以前入学者及び文学部国際文化学科在学者の卒業に必要な単位数は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**〔1997年2月27日理事会決定〕

- 1 この学則は、1997年4月1日から施行する。
- 2 音楽学部1993年度から1996年度入学者に適用する各学科専門科目は、改正後の第3条関係別表2にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**〔1997年9月8日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

**附 則**〔1997年12月11日理事会決定〕

この学則は、1998年4月1日から施行する。

**附 則**〔1998年2月26日理事会決定〕



この学則は、1998年4月1日から施行する。

**附 則**〔1999年2月22日理事会決定〕

この学則は、1999年4月1日から施行する。ただし、改正後の第37条関係別表5-1に規定する入学検定料の額は、1999年度入学試験から適用する。

**附 則**〔1999年5月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2000年4月1日から施行する。
- 2 2000年度から2003年度までの間の文学部英文学科及び日本文学科、音楽学部声楽学科及び器楽学科、国際交流学部国際交流学科の入学定員は、改正後の第2条の2の規定にかかわらず、次のとおりとする。

学部・学科	入学定員			
	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
文学部	名	名	名	名
英文学科	125	121	118	115
日本文学科	125	122	118	114
音楽学部				
声楽学科	29	28	27	26
器楽学科	53	51	49	47
国際交流学部				
国際交流学科	161	159	158	156

**附 則**〔1999年10月29日理事会決定〕

- 1 この学則は、2000年4月1日から施行する。
- 2 音楽学部1996年度以前入学者に適用する音楽学部共通専門科目は、改正後の第3条関係別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 文学部1995年度以前入学者及び音楽学部1996年度以前入学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条関係別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**〔2000年2月4日理事会決定〕

この学則は、2000年4月1日から施行する。

**附 則**〔2001年2月19日理事会決定〕

- 1 この学則は、2001年4月1日から施行する。ただし、改正後の第35条関係別表第6に規定する入学検定料の額は、2001年度入学試験から適用する。
- 2 文学部1996年度及び1997年度入学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条関係別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**〔2002年3月25日理事会決定〕

この学則は、2002年4月1日から施行する。

**附 則**〔2002年12月16日理事会決定〕

- 1 この学則は、2004年4月1日から施行する。
- 2 音楽学部楽理学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2004年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

**附 則**〔2003年2月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2003年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第35条第4項に規定する入学検定料の減免については、2003年度入学試験から適用する。
- 3 音楽学部器楽学科2000・2001・2002年度入学者の卒業に必要な単位の改正は、2003年2月25日から施行し、2000年4月1日から適用する。

**附 則**〔2003年5月29日理事会決定〕

この学則は、2004年4月1日から施行する。

**附 則**〔2003年11月27日理事会決定〕

この学則は、2003年11月27日から施行する。

**附 則**〔2004年2月26日理事会決定〕

- 1 この学則は、2004年4月1日から施行する。
- 2 2003年度以前入学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**〔2004年3月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2005年4月1日から施行する。ただし、改正後の第35条関係別表第6に規定する入学検定料の額は、2005年度入学試験から適用する。
- 2 音楽学部声楽学科及び器楽学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2005年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 音楽学部声楽学科及び器楽学科在学者の取得できる教育職員免許状の種類は、改正後の第19条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 1996年度以前入学者の授業料等学納金については、改正後の第36条及び第36条の2関係別表第7の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 2005年度及び2006年度音楽学部3年次編入学試験に係る入学検定料の額は、改正後の第35条関係別表第6の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 6 2005年度及び2006年度音楽学部3年次編入学者に係る入学金及び授業料等学納金の額は、改正後の第36条及び第36条の2関係別表第7の規定にかかわらず、2004年度以前入学者に準じて納入しなければならない。

**附 則**〔2005年2月24日理事会決定〕

- 1 この学則は、2005年4月1日から施行する。
- 2 2003年度以前入学者及び2004年度入学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、それぞれ改正後の第18条の2の規程にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**〔2005年3月24日理事会決定〕

この学則は、2005年4月1日から施行する。

**附 則**〔2005年3月24日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行し、2006年度入学試験から適用する。

**附 則**〔2005年9月5日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行する。

**附 則**〔2006年2月23日理事会決定〕

この学則は、2006年4月1日から施行する。

**附 則**〔2006年3月23日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行し、2007年度入学試験から適用する。

**附 則**〔2006年10月26日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行する。

**附 則**〔2007年2月22日理事会決定〕

- 1 この学則は、2007年4月1日から施行する。ただし、改正後の第36条及び第36条の2に規定する納入方法は、2007年度入学試験より適用する。
- 2 2006年度以前入学者の授業料等学納金については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 2007年度及び2008年度3年次編入学者の施設設備費の納入については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 2007年度2年次編入学者の施設設備費納入については、改正後の第36条及び第36条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**〔2007年3月22日理事会決定〕

この学則は、2007年4月1日から施行する。

**附 則**〔2007年3月22日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行し、2008年度入学試験から適用する。

**附 則**〔2008年2月28日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行する。

**附 則**〔2008年3月27日理事会決定〕

この学則は、2008年4月1日から施行し、2008年度入学者から適用する。

**附 則**〔2009年2月26日理事会決定〕

この学則は、2009年4月1日から施行する。

**附 則**〔2009年5月28日理事会決定〕

この学則は、2010年4月1日から施行する。

**附 則**〔2010年2月25日理事会決定〕

この学則は、2010年4月1日から施行する。

**附 則**〔2010年3月25日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行し、2011年度入学試験から適用する。

**附 則**〔2010年10月28日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行する。

**附 則**〔2011年2月24日理事会決定〕

この学則は、2011年4月1日から施行する。

**附 則**〔2012年2月23日理事会決定〕

この学則は、2012年4月1日から施行する。

**附 則**〔2012年3月22日理事会決定〕

この学則は、2012年4月1日から施行する。

**附 則**〔2012年10月25日理事会決定〕

- 1 この学則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 文学部英文学科及び日本文学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2014年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 文学部英文学科及び日本文学科在学者の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 文学部英文学科在学者の外国人留学生の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の2第4項の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 5 文学部英文学科及び日本文学科在学者の取得できる教育職員免許状の種類は、改正後の第19条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**〔2013年2月28日理事会決定〕

- 1 この学則は、2013年2月28日から施行し、2011年4月1日から適用する。
- 2 前項の規定にかかわらず、改正後の第3条関係別表第1-Cに規定する「フランス語Ⅱs(L L)」「ドイツ語Ⅱs(L L)」「スペイン語Ⅱs(L L)」「中国語Ⅱs(L L)」「朝鮮語Ⅱs(L L)」については、2003年4月1日から適用する。

**附 則**〔2013年2月28日理事会決定〕

この学則は、2013年4月1日から施行する。

**附 則**〔2013年2月28日理事会決定〕

この学則は、2014年4月1日から施行し、2014年度入学試験から適用する。

**附 則**〔2014年3月27日理事会決定〕

この学則は、2014年4月1日から施行する。

**附 則**〔2014年10月23日理事会決定〕

この学則は、2016年4月1日から施行し、2016年度入学試験から適用する。

**附 則**〔2015年2月26日理事会決定〕

この学則は、2015年4月1日から施行する。

**附 則**〔2015年3月26日理事会決定〕

この学則は、2015年4月1日から施行する。

**附 則**〔2016年3月24日理事会決定〕

- 1 この学則は、2016年4月1日から施行する。
- 2 2017年度編入学者及び2018年度3年次編入学者の入学金及び学納金については、改正後の第36条の5の規定により、改正後の第36条の4関係別表第7-1を適用する。

**附 則**〔2016年5月26日理事会決定〕

この学則は、2017年4月1日から施行する。

**附 則**〔2017年2月23日理事会決定〕

- 1 この学則は、2017年4月1日から施行する。
- 2 2016年度以前に入学した者の第3条第2項の適用については、なお従前の例による。

**附 則**〔2018年2月22日理事会決定〕

1 この学則は、2018年4月1日から施行する。ただし、改正後の第18条の3に規定する外国人留学生の卒業に必要な単位及び改正後の第18条関係別表第5に規定する卒業に必要な単位は2017年4月1日から適用する。

2 2016年度以前入学の外国人留学生の卒業に必要な単位は、改正後の第18条の3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**〔2018年2月22日理事会決定〕

1 この学則は、2019年4月1日から施行する。

2 音楽学部演奏学科は、改正後の第2条の規定にかかわらず、2019年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

3 音楽学部演奏学科在学者の取得できる教育職員免許状の種類は、改正後の第19条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

4 音楽学部演奏学科編入学試験に係る入学検定料の額は、改正後の第35条関係別表第6の規定にかかわらず、なお従前の例による。

**附 則**〔2018年3月22日理事会決定〕

この学則は、2018年3月22日から施行し、2017年7月1日から適用する。

**附 則**〔2018年10月25日理事会決定〕

この学則は、2019年4月1日から施行する。

**附 則**〔2019年2月28日理事会決定〕

この学則は、2019年4月1日から施行する。

**附 則**〔2020年2月27日理事会決定〕

この学則は、2020年4月1日から施行する。

**附 則**〔2020年3月26日理事会決定〕

この学則は、2020年4月1日から施行する。

別表第1 (第3条関係)

共通科目

( )内は単位数

A 基礎教養科目  
2016年度以前入学者

キリスト教 I	(2)	経営学入門 A	(2)
哲学 A	(2)	経営学入門 B	(2)
哲学 B	(2)	ボランティア論	(2)
心理学	(2)	ボランティア活動 1	(1)
青年心理	(2)	ボランティア活動 2	(2)
ジェンダーと教育の歴史	(2)	ボランティア活動 3	(6)
子ども・教育・保育	(2)	文学 (日本文学) 1	(2)
論理学	(2)	文学 (日本文学) 2	(2)
数的思考の初歩	(2)	文学 (日本文学) 3	(2)
読み書きのスキル (文学系)	(2)	文学 (日本文学) 4	(2)
読み書きのスキル (社会系)	(2)	文学 (外国文学) 1	(2)
今年の一冊	(2)	文学 (外国文学) 2	(2)
聞く話すのスキル	(2)	文学 (外国文学) 3	(2)
情報とメディアのリテラシー	(2)	文学 (外国文学) 4	(2)
読書とメディア	(2)	音楽 A	(2)
社会科学入門	(2)	音楽 B	(2)
近現代史入門	(2)	音楽実技 (声楽アンサンブル入門)	(1)
社会経済史	(2)	音楽実技 (ピアノ)	(1)
社会学 A	(2)	音楽実技 (弦楽器)	(1)
マスコミュニケーション論 A	(2)	音楽実技 (管楽器)	(1)
マスコミュニケーション論 B	(2)	音楽実技 (声楽)	(1)
現代における法学入門	(2)	音楽実技 (オルガン)	(1)
民法 (家族法 A)	(2)	音楽社会学	(2)
民法 (家族法 B)	(2)	美術芸術論	(2)
日本国憲法	(2)	舞台芸術入門	(2)
商法・会社法	(2)	科学技術入門	(2)
消費者関連法 A	(2)	数学の基礎	(2)
消費者関連法 B	(2)	統計の基礎	(2)
行政学 A	(2)	環境学入門	(2)
行政学 B	(2)	生き物との共生	(2)
経済学入門	(2)	情報科学	(2)
現代の経済問題	(2)	情報リテラシー基礎	(2)
社会保障論	(2)	情報リテラシー応用	(2)
マクロ経済学	(2)	健康・スポーツ論	(2)
ミクロ経済学	(2)	スポーツ実習	(1)

B 総合課題科目  
2016年度以前入学者

キリスト教 II (キリスト教と諸宗教)	(2)	キリスト教 II (キリスト教と社会)	(2)
キリスト教 II (キリスト教の歴史)	(2)	キリスト教 II (キリスト教と法律)	(2)
キリスト教 II (キリスト教と倫理)	(2)	キリスト教 II (キリスト教と聖書 1)	(2)
キリスト教 II (キリスト教と思想 1)	(2)	キリスト教 II (キリスト教と聖書 2)	(2)
キリスト教 II (キリスト教と思想 2)	(2)	キリスト教 II (キリスト教と文学 1)	(2)
キリスト教 II (キリスト教と思想 3)	(2)	キリスト教 II (キリスト教と文学 2)	(2)

キリスト教Ⅱ (キリスト教と音楽)	(2)	社会人基礎力の修得と実践	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と芸術)	(2)	キャリア実習 (短期インターンシップ)	(1)
キリスト教Ⅱ (キリスト教とことば)	(2)	キャリア実習 (長期インターンシップ)	(2)
キリスト教Ⅲ (キリスト教とボランティア)	(2)	転換の時代を生きる	(2)
キリスト教Ⅳ (キリスト教とフェリス女学院)	(2)	環境と人間	(2)
フェリス女学院で学ぶということ	(2)	世界とつながる音楽の力	(2)
女性	(2)	女性のキャリア	(2)
他者との共生 : For Others	(2)	地域と環境から見た未来	(2)
分析的・批判的思考1	(2)	ボランティア活動が変える世界	(2)
分析的・批判的思考2	(2)	21世紀のオリンピックとパラリンピック	(2)
弁論と説得	(2)	グローバル時代の対話と協調	(2)
議論と意思決定	(2)	21世紀の戦争と平和	(2)
市民活動の役割と意義	(2)	文化の創造と継承	(2)
キャリア形成の理解	(2)	私たちが学びたいこと	(2)
キャリア系の知識を深める	(2)	学びの世界を広げる	(2)
		新たな学びの世界への招待	(2)

C CLAコア科目  
2017年度以降入学者

キリスト教Ⅰ	(2)	文学 (日本文学) 4	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と諸宗教)	(2)	文学 (外国文学) 1	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教の歴史)	(2)	文学 (外国文学) 2	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と倫理)	(2)	文学 (外国文学) 3	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と思想1)	(2)	文学 (外国文学) 4	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と思想2)	(2)	音楽1 A	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と思想3)	(2)	音楽2 A	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と社会)	(2)	音楽1 B	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と法律)	(2)	音楽2 B	(2)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と聖書1)	(2)	音楽実技 (声楽アンサンブル入門)	(1)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と聖書2)	(2)	音楽実技 (ピアノ)	(1)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と文学1)	(2)	音楽実技 (弦楽器)	(1)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と文学2)	(2)	音楽実技 (管楽器)	(1)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と音楽)	(2)	音楽実技 (声楽)	(1)
キリスト教Ⅱ (キリスト教と芸術)	(2)	音楽実技 (オルガン)	(1)
キリスト教Ⅱ (キリスト教とことば)	(2)	音楽社会学	(2)
キリスト教Ⅲ (キリスト教とボランティア)	(2)	美術芸術論	(2)
キリスト教Ⅳ (キリスト教とフェリス女学院)	(2)	舞台芸術入門	(2)
哲学A	(2)	生命科学と倫理A	(2)
哲学B	(2)	生命科学と倫理B	(2)
心理学	(2)	マスコミュニケーションと思想	(2)
青年心理	(2)	社会科学入門	(2)
ジェンダーと教育の歴史	(2)	近現代史入門	(2)
子ども・教育・保育	(2)	社会経済史	(2)
文学 (日本文学) 1	(2)	社会学	(2)
文学 (日本文学) 2	(2)	マスコミュニケーション論	(2)
文学 (日本文学) 3	(2)	現代における法学入門	(2)
		日本国憲法	(2)
		家族と法A	(2)

家族と法B	(2)	今年の一冊	(2)
消費者と法A	(2)	ボランティア論	(2)
消費者と法B	(2)	ボランティア活動1	(1)
商法・会社法	(2)	ボランティア活動2	(2)
経済学入門	(2)	ボランティア活動3	(6)
マクロ経済学	(2)	市民活動の役割と意義	(2)
ミクロ経済学	(2)	情報リテラシー基礎	(2)
現代の経済問題	(2)	情報リテラシー応用	(2)
社会保障論	(2)	女性1	(2)
行政学A	(2)	女性2	(2)
行政学B	(2)	女性3	(2)
経営学入門A	(2)	女性4	(2)
経営学入門B	(2)	女性5	(2)
企業と倫理	(2)	キャリア形成の理解1	(2)
転換の時代を生きる1	(2)	キャリア形成の理解2	(2)
転換の時代を生きる2	(2)	キャリア系の知識を深める1	(2)
転換の時代を生きる3	(2)	キャリア系の知識を深める2	(2)
転換の時代を生きる4	(2)	キャリア系の知識を深める3	(2)
数学の基礎	(2)	社会人基礎力の修得と実践1	(2)
統計の基礎	(2)	社会人基礎力の修得と実践2	(2)
数的思考の初歩	(2)	キャリア実習（短期インターンシップ）	(1)
科学技術入門	(2)	キャリア実習（長期インターンシップ）	(2)
環境学入門1	(2)	未来の環境を展望する1	(2)
環境学入門2	(2)	未来の環境を展望する2	(2)
情報科学1	(2)	未来の環境を展望する3	(2)
情報科学2	(2)	未来の環境を展望する4	(2)
情報科学3	(2)	未来の環境を展望する5	(2)
情報科学4	(2)	未来の環境を展望する6	(2)
健康・スポーツ論	(2)	世界とつながる音楽の力	(2)
スポーツ実習	(1)	フェリス女学院で学ぶということ	(2)
読み書きのスキル（文学系）	(2)	女性のキャリア	(2)
読み書きのスキル（社会系）	(2)	地域と環境から見た未来	(2)
聞く話すのスキル	(2)	ボランティア活動が変える世界	(2)
分析的・批判的思考1	(2)	21世紀のオリンピックとパラリンピック	(2)
分析的・批判的思考2	(2)	グローバル時代の対話と協調	(2)
弁論と説得	(2)	21世紀の戦争と平和	(2)
議論と意思決定	(2)	私たちが学びたいこと	(2)
情報とメディアのリテラシー1	(2)	学びの世界を広げる	(2)
情報とメディアのリテラシー2	(2)	文化の創造と継承	(2)
読書とメディア	(2)	プロジェクト演習	(1)



D 語学科目

英語 I s (読む・書く)	(1)	Reading/Writing)	(1)
英語 I s (聞く・話す)	(1)	英語e (TOEFL-iBT Preparation III)	(1)
英語 II i (Reading)	(1)	英語e (TOEIC Preparation I)	(1)
英語 II i (Writing)	(1)	英語e (TOEIC Preparation II:Listening)	(1)
英語 II i (Listening)	(1)	英語e (TOEIC Preparation II:Reading)	(1)
英語 II i (Speaking)	(1)	英語e (TOEIC Preparation III)	(1)
英語 II i (Presentation)	(1)	英語e (Vocabulary:Basic)	(1)
英語 II i (Language Development)	(1)	英語e (Vocabulary)	(1)
英語 II i (講読)	(1)	英語e (Writing Skills)	(1)
英語 II s (読む・書く)	(1)	フランス語 I (入門)	(1)
英語 II s (聞く・話す)	(1)	フランス語 II i (文法)	(3)
英語 III i (Reading)	(1)	フランス語 II i (読む1)	(1)
英語 III i (Writing)	(1)	フランス語 II i (読む2)	(1)
英語 III i (Listening)	(1)	フランス語 II i (LL)	(1)
英語 III i (Speaking)	(1)	フランス語 II s (文法)	(1)
英語 III i (Language Development)	(1)	フランス語 II s (読む)	(1)
英語 III s (読む・書く)	(1)	フランス語 II s (LL)	(1)
英語 III s (聞く・話す)	(1)	フランス語 III i (文法)	(2)
英語 IV i (Reading)	(1)	フランス語 III i (読む)	(1)
英語 IV i (Writing)	(1)	フランス語 III i (話す)	(1)
英語 IV i (Listening)	(1)	フランス語 III i (書く)	(1)
英語 IV i (Speaking)	(1)	フランス語 III i (LL)	(1)
英語 IV i (Language Development)	(1)	フランス語 III s (文法)	(1)
英語 IV i (講読)	(1)	フランス語 III s (読む)	(1)
英語 IV s (読む・書く)	(1)	フランス語 III s (話す)	(1)
英語 IV s (聞く・話す)	(1)	フランス語 III s (LL)	(1)
英語 V i (Reading)	(1)	フランス語 IV i (読む1)	(1)
英語 V i (Speaking)	(1)	フランス語 IV i (読む2)	(1)
英語e (Academic Listening)	(1)	フランス語 IV i (話す)	(1)
英語e (Academic Reading)	(1)	フランス語 IV i (書く)	(1)
英語e (Academic Reading:Advanced)	(1)	フランス語 IV i (LL)	(1)
英語e (Business Communication)	(1)	フランス語 IV s (読む)	(1)
英語e (Conversation Skills:Basic)	(1)	フランス語 IV s (話す)	(1)
英語e (Conversation Skills)	(1)	フランス語 IV s (LL)	(1)
英語e (Conversation Skills:Advanced) (1)		フランス語 V i (読む)	(1)
英語e (Creative Writing)	(1)	フランス語 V i (話す)	(1)
英語e (Discussion and Debate)	(1)	フランス語 V i (書く)	(1)
英語e (English through Movies)	(1)	フランス語 V i (LL)	(1)
英語e (English through Music:Basic)	(1)	フランス語 VI i (読む)	(1)
英語e (Grammar:Basic)	(1)	フランス語 VI i (話す)	(1)
英語e (News and Views)	(1)	フランス語 VI i (書く)	(1)
英語e (News and Views:Advanced)	(1)	フランス語 VI i (LL)	(1)
英語e (Pronunciation:Basic)	(1)	海外語学実習 (フランス語)	(2)
英語e (Pronunciation)	(1)	ドイツ語 I (入門)	(1)
英語e (Speech and Debate)	(1)	ドイツ語 I (文法)	(1)
英語e (TOEFL-iBT Preparation I)	(1)	ドイツ語 I (読む)	(1)
英語e (TOEFL-iBT Preparation II: Listening/Speaking)	(1)	ドイツ語 II i (文法)	(3)
英語e (TOEFL-iBT Preparation II: Listening/Speaking)	(1)	ドイツ語 II i (読む1)	(1)
英語e (TOEFL-iBT Preparation II: Listening/Speaking)	(1)	ドイツ語 II i (読む2)	(1)

ドイツ語Ⅱi (LL)	(1)	スペイン語Ⅳi (LL)	(1)
ドイツ語Ⅱs (文法)	(1)	スペイン語Ⅳs (読む)	(1)
ドイツ語Ⅱs (読む)	(1)	スペイン語Ⅳs (話す)	(1)
ドイツ語Ⅱs (LL)	(1)	スペイン語Ⅳs (LL)	(1)
ドイツ語Ⅲi (文法)	(2)	スペイン語Ⅴi (読む)	(1)
ドイツ語Ⅲi (読む)	(1)	スペイン語Ⅴi (話す)	(1)
ドイツ語Ⅲi (話す)	(1)	スペイン語Ⅴi (書く)	(1)
ドイツ語Ⅲi (書く)	(1)	スペイン語Ⅴi (LL)	(1)
ドイツ語Ⅲi (LL)	(1)	スペイン語Ⅵi (読む)	(1)
ドイツ語Ⅲs (文法)	(1)	スペイン語Ⅵi (話す)	(1)
ドイツ語Ⅲs (読む)	(1)	スペイン語Ⅵi (書く)	(1)
ドイツ語Ⅲs (話す)	(1)	スペイン語Ⅵi (LL)	(1)
ドイツ語Ⅲs (LL)	(1)	海外語学実習 (スペイン語)	(2)
ドイツ語Ⅳi (読む1)	(1)	中国語Ⅰ (入門)	(1)
ドイツ語Ⅳi (読む2)	(1)	中国語Ⅱi (文法)	(3)
ドイツ語Ⅳi (話す)	(1)	中国語Ⅱi (読む1)	(1)
ドイツ語Ⅳi (書く)	(1)	中国語Ⅱi (読む2)	(1)
ドイツ語Ⅳi (LL)	(1)	中国語Ⅱi (LL)	(1)
ドイツ語Ⅳs (読む)	(1)	中国語Ⅱs (文法)	(1)
ドイツ語Ⅳs (話す)	(1)	中国語Ⅱs (読む)	(1)
ドイツ語Ⅳs (LL)	(1)	中国語Ⅱs (LL)	(1)
ドイツ語Ⅴi (読む)	(1)	中国語Ⅲi (文法)	(2)
ドイツ語Ⅴi (話す)	(1)	中国語Ⅲi (読む)	(1)
ドイツ語Ⅴi (書く)	(1)	中国語Ⅲi (話す)	(1)
ドイツ語Ⅴi (LL)	(1)	中国語Ⅲi (書く)	(1)
ドイツ語Ⅵi (読む)	(1)	中国語Ⅲi (LL)	(1)
ドイツ語Ⅵi (話す)	(1)	中国語Ⅲs (文法)	(1)
ドイツ語Ⅵi (書く)	(1)	中国語Ⅲs (読む)	(1)
ドイツ語Ⅵi (LL)	(1)	中国語Ⅲs (話す)	(1)
海外語学実習 (ドイツ語)	(2)	中国語Ⅲs (LL)	(1)
スペイン語Ⅰ (入門)	(1)	中国語Ⅳi (読む1)	(1)
スペイン語Ⅱi (文法)	(3)	中国語Ⅳi (読む2)	(1)
スペイン語Ⅱi (読む1)	(1)	中国語Ⅳi (話す)	(1)
スペイン語Ⅱi (読む2)	(1)	中国語Ⅳi (書く)	(1)
スペイン語Ⅱi (LL)	(1)	中国語Ⅳi (LL)	(1)
スペイン語Ⅱs (文法)	(1)	中国語Ⅳs (読む)	(1)
スペイン語Ⅱs (読む)	(1)	中国語Ⅳs (話す)	(1)
スペイン語Ⅱs (LL)	(1)	中国語Ⅳs (LL)	(1)
スペイン語Ⅲi (文法)	(2)	中国語Ⅴi (読む)	(1)
スペイン語Ⅲi (読む)	(1)	中国語Ⅴi (話す)	(1)
スペイン語Ⅲi (話す)	(1)	中国語Ⅴi (書く)	(1)
スペイン語Ⅲi (書く)	(1)	中国語Ⅴi (LL)	(1)
スペイン語Ⅲi (LL)	(1)	中国語Ⅵi (読む)	(1)
スペイン語Ⅲs (文法)	(1)	中国語Ⅵi (話す)	(1)
スペイン語Ⅲs (読む)	(1)	中国語Ⅵi (書く)	(1)
スペイン語Ⅲs (話す)	(1)	中国語Ⅵi (LL)	(1)
スペイン語Ⅲs (LL)	(1)	海外語学実習 (中国語)	(2)
スペイン語Ⅳi (読む1)	(1)	朝鮮語Ⅰ (入門)	(1)
スペイン語Ⅳi (読む2)	(1)	朝鮮語Ⅱi (文法)	(3)
スペイン語Ⅳi (話す)	(1)	朝鮮語Ⅱi (読む1)	(1)
スペイン語Ⅳi (書く)	(1)	朝鮮語Ⅱi (読む2)	(1)

朝鮮語Ⅱi (LL)	(1)	朝鮮語Ⅵi (読む)	(1)
朝鮮語Ⅱs (文法)	(1)	朝鮮語Ⅵi (話す)	(1)
朝鮮語Ⅱs (読む)	(1)	朝鮮語Ⅵi (書く)	(1)
朝鮮語Ⅱs (LL)	(1)	朝鮮語Ⅵi (LL)	(1)
朝鮮語Ⅲi (文法)	(2)	海外語学実習 (朝鮮語)	(2)
朝鮮語Ⅲi (読む)	(1)	古典ギリシア語Ⅰ (文法)	(1)
朝鮮語Ⅲi (話す)	(1)	古典ギリシア語Ⅱ (文法)	(1)
朝鮮語Ⅲi (書く)	(1)	古典ギリシア語Ⅲ (読む)	(1)
朝鮮語Ⅲi (LL)	(1)	古典ギリシア語Ⅳ (読む)	(1)
朝鮮語Ⅲs (文法)	(1)	ラテン語Ⅰ (文法)	(1)
朝鮮語Ⅲs (読む)	(1)	ラテン語Ⅱ (文法)	(1)
朝鮮語Ⅲs (話す)	(1)	ラテン語Ⅲ (読む)	(1)
朝鮮語Ⅲs (LL)	(1)	ラテン語Ⅳ (読む)	(1)
朝鮮語Ⅳi (読む1)	(1)	イタリア語Ⅰ (基礎)	(1)
朝鮮語Ⅳi (読む2)	(1)	イタリア語Ⅰ (文法)	(1)
朝鮮語Ⅳi (話す)	(1)	イタリア語Ⅰ (読む)	(1)
朝鮮語Ⅳi (書く)	(1)	イタリア語Ⅱ (文法)	(1)
朝鮮語Ⅳi (LL)	(1)	イタリア語Ⅱ (読む)	(1)
朝鮮語Ⅳs (読む)	(1)	イタリア語Ⅲ (文法)	(1)
朝鮮語Ⅳs (話す)	(1)	イタリア語Ⅲ (読む)	(1)
朝鮮語Ⅳs (LL)	(1)	イタリア語Ⅳ (読む)	(1)
朝鮮語Ⅴi (読む)	(1)	イタリア語Ⅳ (話す)	(1)
朝鮮語Ⅴi (話す)	(1)	日本語Ⅰ	(1)
朝鮮語Ⅴi (書く)	(1)	日本語Ⅱ	(1)
朝鮮語Ⅴi (LL)	(1)		

別表第2 (第3条関係)

専門科目

( ) 内は単位数

A 文学部英文学科

2004～2013年度入学者

文学部英語英米文学科

2014年度入学者

R & R (入門ゼミ)	(1)	英米文化専門講読 5	(2)
英米文化基礎ゼミ	(1)	英米文化専門講読 6	(2)
イギリス研究入門 1	(2)	英米文化専門講読 7	(2)
イギリス研究入門 2	(2)	英米文化専門講読 8	(2)
イギリス研究入門 3	(2)	英米文化専門講読 9	(2)
イギリス研究入門 4	(2)	英米文化専門講読 10	(2)
イギリス研究入門 5	(2)	英米文化専門講読 11	(2)
アメリカ研究入門 1	(2)	英米文化発展ゼミ	(2)
アメリカ研究入門 2	(2)	イギリス史 A	(2)
アメリカ研究入門 3	(2)	イギリス史 B	(2)
アメリカ研究入門 4	(2)	イギリス史 3	(2)
英語学研究入門 1	(2)	イギリスの政治と社会 A	(2)
英語学研究入門 2	(2)	イギリスの政治と社会 B	(2)
英米文化専門講読 1	(2)	イギリスの思想と宗教	(2)
英米文化専門講読 2	(2)	イギリス文化論総説 A	(2)
英米文化専門講読 3	(2)	現代イギリス論	(2)
英米文化専門講読 4	(2)	アメリカ史 1	(2)

アメリカ史 2	(2)	英語の歴史 B	(2)
アメリカの政治と社会 A	(2)	英語学 1	(2)
アメリカの政治と社会 B	(2)	英語学 2	(2)
アメリカの思想・宗教 A	(2)	English Linguistics 1	(2)
アメリカの文化 1	(2)	English Linguistics 2	(2)
アメリカの文化 2	(2)	英語と社会・文化	(2)
現代アメリカ論 1	(2)	英語と社会・文化 2	(2)
現代アメリカ論 2	(2)	日英語の発想と表現	(2)
カナダの社会	(2)	Thought and Expression in English	(2)
オーストラリア地域文化研究 A	(2)	英語学特論	(2)
オーストラリア地域文化研究 B	(2)	英語学特論 2	(2)
イギリス文学史 1 (詩)	(2)	英語学特論 3	(2)
イギリス文学史 2 (劇)	(2)	英語の発音 A	(2)
イギリス文学史 3 (小説)	(2)	英語の発音 B	(2)
イギリス詩 1	(2)	翻訳技法 A	(2)
イギリス詩 2	(2)	翻訳技法 B	(2)
イギリス詩 3	(2)	通訳技法 A	(2)
イギリス演劇 1	(2)	通訳技法 B	(2)
イギリス演劇 2	(2)	同時通訳技法 A	(2)
イギリス演劇 3	(2)	同時通訳技法 B	(2)
イギリス小説 1	(2)	Academic Writing 1	(2)
イギリス小説 2	(2)	Academic Writing 2	(2)
イギリス小説 3	(2)	Global Issues 1	(2)
フォークロアの世界 A	(2)	Global Issues 2	(2)
フォークロアの世界 B	(2)	Business Communication 1	(2)
イギリス伝承文学 3	(2)	Business Communication 2	(2)
イギリス伝承文学 4	(2)	The English-Speaking World A	(2)
イギリス文化史	(2)	The English-Speaking World B	(2)
英語圏の文学と芸術 A	(2)	English for Kids A	(2)
英語圏の文学と芸術 B	(2)	English for Kids B	(2)
アメリカ文学史	(2)	Focus on Listening and Reading 1	(2)
アメリカ詩 1	(2)	Focus on Listening and Reading 2	(2)
アメリカ詩 2	(2)	Writing Workshop 1	(2)
アメリカ演劇の世界 A	(2)	Writing Workshop 2	(2)
アメリカ演劇の世界 B	(2)	Academic Skills 1	(2)
アメリカ小説 1	(2)	Academic Skills 2	(2)
アメリカ小説 2	(2)	Academic Skills 3	(2)
キリスト教と英米文学 1	(2)	Academic Skills 4	(2)
キリスト教と英米文学 2	(2)	Academic Skills 5	(2)
英語圏文学 B	(2)	Academic Skills 6	(2)
英米文化特論 2	(2)	Academic Skills 7	(2)
英米文化特論 3	(2)	英語集中セミナー 1	(1)
英米文化特論 4	(2)	英語集中セミナー 2	(1)
英米文化特論 5	(2)	英米文化専門ゼミ A	(1)
英米文化特論 6	(2)	英米文化専門ゼミ B	(1)
英米芸術史	(2)	英米文化卒論ゼミ A	(1)
英語圏の映画と映像 A	(2)	英米文化卒論ゼミ B	(1)
英語圏の映画と映像 B	(2)	卒業論文	(6)
英語圏の映画と映像 3	(2)	イギリス現地実習	(2)
英語圏の映画と映像 4	(2)	アメリカ現地実習	(2)
英語の歴史 A	(2)	Spring Abroad	(2)

## 2015年度以降入学者

R & R (入門ゼミ)	(1)	アメリカの思想と宗教	(2)
英米文化基礎ゼミ	(1)	アメリカの文化1	(2)
イギリス研究入門1	(2)	アメリカの文化2	(2)
イギリス研究入門2	(2)	現代アメリカ論1	(2)
イギリス研究入門3	(2)	現代アメリカ論2	(2)
イギリス研究入門4	(2)	カナダの社会	(2)
イギリス研究入門5	(2)	オーストラリアの社会と文化1	(2)
アメリカ研究入門1	(2)	オーストラリアの社会と文化2	(2)
アメリカ研究入門2	(2)	イギリス文学史1 (詩)	(2)
アメリカ研究入門3	(2)	イギリス文学史2 (劇)	(2)
アメリカ研究入門4	(2)	イギリス文学史3 (小説)	(2)
英語学研究入門1	(2)	イギリス詩1	(2)
英語学研究入門2	(2)	イギリス詩2	(2)
英米文化専門講読1	(2)	イギリス詩3	(2)
英米文化専門講読2	(2)	イギリス演劇1	(2)
英米文化専門講読3	(2)	イギリス演劇2	(2)
英米文化専門講読4	(2)	イギリス演劇3	(2)
英米文化専門講読5	(2)	イギリス小説1	(2)
英米文化専門講読6	(2)	イギリス小説2	(2)
英米文化専門講読7	(2)	イギリス小説3	(2)
英米文化専門講読8	(2)	イギリス伝承文学1	(2)
英米文化専門講読9	(2)	イギリス伝承文学2	(2)
英米文化専門講読10	(2)	イギリス伝承文学3	(2)
英米文化専門講読11	(2)	イギリス伝承文学4	(2)
Academic Writing 1	(2)	イギリス文化史	(2)
Academic Writing 2	(2)	イギリスの文化と芸術1	(2)
Global Issues 1	(2)	イギリスの文化と芸術2	(2)
Global Issues 2	(2)	アメリカ文学史	(2)
Business Communication 1	(2)	アメリカ詩1	(2)
Business Communication 2	(2)	アメリカ詩2	(2)
Literature and Culture 1	(2)	アメリカ演劇1	(2)
Literature and Culture 2	(2)	アメリカ演劇2	(2)
English for Children 1	(2)	アメリカ小説1	(2)
English for Children 2	(2)	アメリカ小説2	(2)
英米文化発展ゼミ	(2)	キリスト教と英米文学1	(2)
イギリス史1	(2)	キリスト教と英米文学2	(2)
イギリス史2	(2)	英米文化特論1	(2)
イギリス史3	(2)	英米文化特論2	(2)
イギリスの政治と社会1	(2)	英米文化特論3	(2)
イギリスの政治と社会2	(2)	英米文化特論4	(2)
イギリスの思想と宗教	(2)	英米文化特論5	(2)
イギリスの文化	(2)	英米文化特論6	(2)
現代イギリス論	(2)	英米芸術史	(2)
アメリカ史1	(2)	英語圏の映画と映像1	(2)
アメリカ史2	(2)	英語圏の映画と映像2	(2)
アメリカの政治と社会1	(2)	英語圏の映画と映像3	(2)
アメリカの政治と社会2	(2)	英語圏の映画と映像4	(2)

英語の歴史 1	(2)	Focus on Listening and Reading 2	(2)
英語の歴史 2	(2)	Writing Workshop 1	(2)
英語学 1	(2)	Writing Workshop 2	(2)
英語学 2	(2)	Academic Skills 1	(2)
English Linguistics 1	(2)	Academic Skills 2	(2)
English Linguistics 2	(2)	Academic Skills 3	(2)
英語と社会・文化 1	(2)	Academic Skills 4	(2)
英語と社会・文化 2	(2)	Academic Skills 5	(2)
日英語の発想と表現	(2)	Academic Skills 6	(2)
Thought and Expression in English	(2)	Academic Skills 7	(2)
英語学特論 1	(2)	英語集中セミナー 1	(1)
英語学特論 2	(2)	英語集中セミナー 2	(1)
英語学特論 3	(2)	英米文化専門ゼミ A	(1)
英語の発音 1	(2)	英米文化専門ゼミ B	(1)
英語の発音 2	(2)	英米文化卒論ゼミ A	(1)
翻訳技法 1	(2)	英米文化卒論ゼミ B	(1)
翻訳技法 2	(2)	卒業論文	(6)
通訳技法 1	(2)	Summer Abroad (UK)	(2)
通訳技法 2	(2)	Summer Abroad (US)	(2)
同時通訳技法 1	(2)	Spring Abroad	(2)
同時通訳技法 2	(2)	Field Study 1	(1)
Focus on Listening and Reading 1	(2)	Field Study 2	(1)

B 文学部日本文学科

2012～2013年度入学者

文学部日本語日本文学科

2014～2015年度入学者

R&R(入門ゼミ)	(1)	日本史の基礎 (近現代)	(2)
日本語文化基礎ゼミ	(1)	日本語資料を読む	(4)
日本語学概論A	(2)	日本語教育資料を読む	(4)
日本語学概論B	(2)	古典文学を読む 1	(4)
日本語の歴史A	(2)	古典文学を読む 2	(4)
日本語の歴史B	(2)	古典文学を読む 3	(4)
日本古典文学史 1	(2)	古典文学を読む 4	(4)
日本古典文学史 2	(2)	近現代文学を読む 1	(4)
日本古典文学史 3	(2)	近現代文学を読む 2	(4)
日本古典文学史 4	(2)	日本語文法研究の方法	(2)
日本近代文学史A	(2)	日本語語彙研究の方法	(2)
日本近代文学史B	(2)	日本語音声研究の方法	(2)
漢文学概説A	(2)	方言研究の方法	(2)
漢文学概説B	(2)	日本語教育研究の方法	(2)
言語学概説	(2)	上代文学研究の方法	(2)
基礎論文演習 (文章表現)	(1)	中古文学研究の方法	(2)
書誌学・くずし字の基礎	(2)	中世文学研究の方法	(2)
古典読解の基礎	(2)	近世文学研究の方法	(2)
漢文読解の基礎	(2)	近現代文学研究の方法	(2)
文学理論の基礎	(2)	漢文学研究の方法	(2)
日本史の基礎 (古代～近世)	(2)	日本語の形態と構文	(2)

日本語の意味と語彙	(2)	近現代詩歌の世界	(2)
日本語の音声とアクセント	(2)	同時代文学の世界	(2)
日本語の文体と語法	(2)	能・狂言の世界	(2)
日本の漢字と国語辞書	(2)	歌舞伎の世界	(2)
日本語の敬語	(2)	浄瑠璃の世界	(2)
方言と社会言語学	(2)	寄席芸能の世界	(2)
近代日本語の世界	(2)	少女歌劇の世界	(2)
コンピュータと言語学	(2)	近現代演劇の世界	(2)
言語と文化	(2)	漢字の世界 1	(2)
日本語教育文法	(2)	漢詩漢文の世界 1	(2)
日本語学習のコースデザイン	(2)	日中比較言語・文学の世界	(2)
日本語教育の教材分析A	(2)	書道芸術の世界	(2)
日本語教授法A	(2)	文字と文学	(2)
日本語教授法B	(2)	文学と子ども	(2)
音声教育法	(2)	地域文化を読み解く	(2)
日本語教育評価法	(2)	民俗文化を読み解く	(2)
日本語教育のための異文化理解	(2)	絵巻・絵図を読み解く	(2)
第二言語習得論	(2)	映画・映像を読み解く	(2)
地域日本語教育実習	(2)	マンガ・アニメ文化を読み解く	(2)
年少者日本語教育実習	(2)	日本伝統文化を学ぶ	(2)
日本語教育実習 1	(1)	小説創作を学ぶ	(2)
日本語教育実習 2	(2)	現代詩創作を学ぶ	(2)
神話の世界	(2)	短歌・俳句創作を学ぶ	(2)
古代和歌の世界	(2)	報道文を学ぶ	(2)
古代和歌の世界B	(2)	編集を学ぶ	(2)
物語の世界	(2)	朗読・アナウンスを学ぶ	(2)
物語の世界B	(2)	日本語教育学概論A	(2)
日記の世界	(2)	日本語教育学概論B	(2)
随筆の世界	(2)	世界の中の日本文学を学ぶ	(2)
軍記の世界	(2)	日本言語文化専門ゼミ A	(1)
説話の世界	(2)	日本言語文化専門ゼミ B	(1)
中世和歌の世界	(2)	日本言語文化卒論ゼミ A	(1)
近世小説の世界	(2)	日本言語文化卒論ゼミ B	(1)
俳諧の世界	(2)	卒業論文	(6)
近代小説の世界	(2)	書道A	(1)
現代小説の世界	(2)	書道B	(1)

2016年度以降入学者

R & R (入門ゼミ)	(1)	日本近代文学史 B	(2)
日本語日本文学基礎ゼミ	(1)	漢文学概説 A	(2)
日本語学概論 A	(2)	漢文学概説 B	(2)
日本語学概論 B	(2)	言語学概説	(2)
日本語の歴史 A	(2)	基礎論文演習 (文章表現)	(1)
日本語の歴史 B	(2)	書誌学・くずし字の基礎	(2)
日本語教育学概論 A	(2)	古典読解の基礎	(2)
日本語教育学概論 B	(2)	漢文読解の基礎	(2)
日本古典文学史 1	(2)	文学理論の基礎	(2)
日本古典文学史 2	(2)	日本史の基礎 (古代～近世)	(2)
日本古典文学史 3	(2)	日本史の基礎 (近現代)	(2)
日本古典文学史 4	(2)	日本語日本文学プレ専門ゼミ 1	(2)
日本近代文学史 A	(2)	日本語日本文学プレ専門ゼミ 2	(2)

日本語日本文学プレ専門ゼミ 3	(2)	日記の世界	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ 4	(2)	随筆の世界	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ 5	(2)	軍記の世界	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ 6	(2)	説話の世界	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ 7	(2)	中世和歌の世界	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ 8	(2)	近世小説の世界	(2)
日本語日本文学プレ専門ゼミ 9	(2)	俳諧の世界	(2)
日本語文法研究の方法	(2)	近代小説の世界	(2)
日本語語彙研究の方法	(2)	現代小説の世界	(2)
日本語音声研究の方法	(2)	近現代詩歌の世界	(2)
方言研究の方法	(2)	同時代文学の世界	(2)
日本語教育研究の方法	(2)	能・狂言の世界	(2)
上代文学研究の方法	(2)	歌舞伎の世界	(2)
中古文学研究の方法	(2)	浄瑠璃の世界	(2)
中世文学研究の方法	(2)	寄席芸能の世界	(2)
近世文学研究の方法	(2)	少女歌劇の世界	(2)
近現代文学研究の方法	(2)	近現代演劇の世界	(2)
漢文学研究の方法	(2)	漢字の世界	(2)
日本語の形態と構文	(2)	漢詩漢文の世界	(2)
日本語の意味と語彙	(2)	日中比較言語・文学の世界	(2)
日本語の音声とアクセント	(2)	書道芸術の世界	(2)
日本語の文体と語法	(2)	近代日本語の世界	(2)
日本の漢字と国語辞書	(2)	書道 A	(1)
日本語の敬語	(2)	書道 B	(1)
方言と社会言語学	(2)	文字と文学	(2)
コンピュータと言語学	(2)	文学と子ども	(2)
言語と文化	(2)	地域文化を読み解く	(2)
日本語教育文法	(2)	民俗文化を読み解く	(2)
日本語学習のコースデザイン	(2)	絵巻・絵図を読み解く	(2)
日本語教育の教材分析	(2)	映画・映像を読み解く	(2)
日本語教授法 A	(2)	マンガ・アニメ文化を読み解く	(2)
日本語教授法 B	(2)	日本伝統文化を学ぶ	(2)
音声教育法	(2)	小説創作を学ぶ	(2)
日本語教育のための異文化理解	(2)	現代詩創作を学ぶ	(2)
第二言語習得論	(2)	短歌・俳句創作を学ぶ	(2)
地域日本語教育実習	(2)	報道文を学ぶ	(2)
年少者日本語教育実習	(2)	編集を学ぶ	(2)
日本語教育実習 1	(1)	朗読・アナウンスを学ぶ	(2)
日本語教育実習 2	(2)	世界の中の日本文学を学ぶ	(2)
神話の世界	(2)	日本語日本文学専門ゼミ A	(1)
古代和歌の世界 A	(2)	日本語日本文学専門ゼミ B	(1)
古代和歌の世界 B	(2)	日本語日本文学卒論ゼミ A	(1)
物語の世界 A	(2)	日本語日本文学卒論ゼミ B	(1)
物語の世界 B	(2)	卒業論文	(6)

### C 文学部コミュニケーション学科

R&R(入門ゼミ)	(1)	コミュニケーション概論A	(2)
コミュニケーション基礎ゼミ	(1)	コミュニケーション概論B	(2)
言語コミュニケーション概論	(2)	コミュニケーション研究方法の全体像	(2)
社会コミュニケーション概論	(2)	心理学実験演習	(4)
文化コミュニケーション概論	(2)	社会・心理調査の方法	(2)
心理コミュニケーション概論	(2)	インタビュー・面接のスキル	(2)



話しことばを分析する	(2)	グローバル化する人の移動の社会学	(2)
文献・情報の集め方	(2)	子どもの発達とこれからの教育問題	(2)
データを数量から読み解く	(2)	これからの家族問題A	(2)
フィールドワークとエスノグラフィー	(2)	これからの家族問題B	(2)
フィールドワークとライフヒストリー分析を学ぶ	(2)	健康・医療におけるコミュニケーションの心理と諸問題	(2)
テキストの批判的解釈のための方法	(2)	H I V・難病問題と向き合う	(2)
コミュニケーション学探求1	(2)	P T S Dと被害者の心理・グリーフワーク	(2)
コミュニケーション学探求2	(2)	ジェンダー問題と男女共同参画社会	(2)
コミュニケーション学探求3	(2)	障害者の心理学と共生社会	(2)
コミュニケーション学探求4	(2)	エイジングの心理学と高齢社会	(2)
コミュニケーション学探求5	(2)	「日本におけるアジア」とのネットワーキング	(2)
コミュニケーション学探求6	(2)	ファシリテーターの理論と実践A	(2)
コミュニケーション学探求7	(2)	ファシリテーターの理論と実践B	(2)
コミュニケーション学探求8	(2)	視覚障害の理解と点字の技法A	(2)
コミュニケーション学探求10	(2)	視覚障害の理解と点字の技法B	(2)
コミュニケーション学探求11	(2)	聴覚障害の理解と手話の技法A	(2)
対人コミュニケーションの心理学	(2)	聴覚障害の理解と手話の技法B	(2)
ことばと記号のコミュニケーション	(2)	共生のフィールドワーク	(4)
社会的行為としてのコミュニケーション	(2)	メディアリテラシーを身につける	(2)
マスコミュニケーションと情報社会	(2)	放送文化と制度を考える	(2)
政治コミュニケーション概説	(2)	新聞・出版ワークショップ	(2)
組織の中の人間関係と心理	(2)	マルチメディアの現在と未来	(2)
身体としぐさの心理学	(2)	物語論	(2)
英語学研究入門1	(2)	テキスト分析と物語構造分析を学ぶ	(2)
日本語学概論A	(2)	日本語の意味と語彙	(2)
日本語学概論B	(2)	日本語の敬語	(2)
日本語の歴史A	(2)	ネットワークによるコミュニケーションの構築	(2)
日本語の歴史B	(2)	行動科学のためのデータ解析	(2)
日本語の文体と語法	(2)	コンピュータによる調査データの解析A	(2)
日本語の形態と構文	(2)	コンピュータによる調査データの解析B	(2)
日本語文法論とコミュニケーション	(2)	文献・情報にアクセスする	(2)
日本語音声とコミュニケーション	(2)	映像取材A	(2)
歴史言語コミュニケーション概説	(2)	映像取材B	(2)
多文化・多言語社会を考える	(2)	マルチメディア制作I (CG・DTP編集)	(2)
クレオール文化の考え方・読み方	(2)	マルチメディア制作II (情報デザイン) A	(2)
先住民族の言語・文化と共生	(2)	マルチメディア制作II (情報デザイン) B	(2)
ことばと個人・社会の因果関係を探る	(2)	プレゼンテーションの方法A	(2)
英語学特論1	(2)	プレゼンテーションの方法B	(2)
異文化のコミュニケーション	(2)	取材と記事のレッスン	(2)
文化の心理学	(2)	編集デザインスキル	(2)
これからの多文化教育	(2)	ディベートと自己主張	(2)
アジアとの出会いと異文化体験	(2)	ビジネス・コミュニケーションスキル	(2)
多文化社会の人間学	(2)	コミュニケーションスキルトレーニングの技法	(2)
多文化体験としての都市フィールドワーク	(2)	身体表現論	(2)
異文化トレーニング	(2)	ファッション文化	(2)
ディアスポラ(離散)の思想	(2)	スポーツ文化	(2)
ことばのフィールドワーク	(2)	現代人と宗教	(2)
エスニックマイノリティーの問題を考えるA	(2)	映画・映像文化	(2)
エスニックマイノリティーの問題を考えるB	(2)	広告とマーケティング	(2)
共生社会論	(2)	英語と社会・文化1	(2)
舞踊の文化人類学	(2)	英語と社会・文化2	(2)

コミュニケーション専門ゼミ I A	(1)	コミュニケーション専門ゼミ II B	(1)
コミュニケーション専門ゼミ I B	(1)	卒業論文・卒業制作	(6)
コミュニケーション専門ゼミ II A	(1)		

D 音楽学部音楽芸術学科  
2018年度以前入学者

音楽の基礎知識	(2)	ポピュラー音楽理論	(2)
音楽基礎理論	(2)	邦楽1	(1)
合唱 I A	(1)	邦楽2	(1)
合唱 I B	(1)	編曲のテクニック	(2)
基礎声楽A	(1)	西洋音楽通史	(4)
基礎声楽B	(1)	日本音楽通史	(4)
基礎ピアノ A	(1)	諸民族の音楽A	(2)
基礎ピアノ B	(1)	諸民族の音楽B	(2)
教職のためのピアノ A	(1)	音楽と歴史 1	(2)
教職のためのピアノ B	(1)	音楽と歴史 2	(2)
和声 I A	(2)	音楽と歴史 3	(2)
和声 I B	(2)	ポピュラー音楽史	(2)
ソルフェージュ A	(1)	公開講座・コンサート鑑賞	(2)
ソルフェージュ B	(1)	映画舞台音楽論	(2)
ポピュラー音楽入門	(2)	現代音楽レパートリー	(2)
賛美歌学	(2)	音楽情報論	(2)
キリスト教音楽概論	(2)	マルチメディア著作権ビジネス	(2)
賛美歌を作ろう	(2)	メディア・アート	(2)
キリスト教音楽実践 A	(2)	コンピュータ音楽制作 1	(2)
キリスト教音楽実践 B	(2)	コンピュータ音楽制作 2	(2)
キリスト教音楽研究 A	(2)	アニメ・ゲーム音楽制作	(2)
キリスト教音楽研究 B	(2)	アート・マネージメント	(2)
和声 II A	(2)	音楽とデザイン	(2)
和声 II B	(2)	音楽ビジネス	(2)
伴奏法 A	(1)	音楽とインターネット	(2)
伴奏法 B	(1)	環境音楽デザイン	(2)
対位法 A	(2)	ステージパフォーマンス・ワークショップ	(2)
対位法 B	(2)	身体表現ワークショップ 1	(2)
対位法	(2)	身体表現ワークショップ 2	(2)
共演芸術 A	(2)	映像音楽制作ワークショップ A	(2)
共演芸術 B	(2)	映像音楽制作ワークショップ B	(2)
共演芸術 1 A	(2)	番組制作ワークショップ	(2)
共演芸術 1 B	(2)	音響機器ワークショップ	(2)
共演芸術 2 A	(2)	録音実技ワークショップ	(2)
共演芸術 2 B	(2)	アナウンス・朗読	(2)
即興演奏ワークショップ	(2)	声の仕事	(2)
演奏表現ワークショップ (クラシック)	(2)	ミュージカルレパートリー・ワークショップ	(2)
ジャズ・ヴォーカル・ワークショップ	(2)	日本歌曲・童謡を歌う	(1)
合唱 II A	(1)	作曲を楽しもう A	(2)
合唱 II B	(1)	作曲を楽しもう B	(2)
合唱 III A	(1)	ポップスを楽しもう	(2)
合唱 III B	(1)	バンドを楽しもう	(2)
身体の科学	(2)	アンサンブルを楽しもう	(2)
英語で音楽理論	(2)	作・編曲法	(2)
作品分析	(2)	コーラスリーダー・ワークショップ	(2)

音楽起業ワークショップ	(2)	海外音楽研修	(2)
英語で音楽ビジネス	(2)	卒業プロジェクト	(6)
合奏	(1)	PA教職実技(声楽)	(1)
音楽と身体表現	(2)	PA教職実技(ピアノ)	(1)
音楽と脳科学	(2)	PA教職実技(伴奏・即興演奏)	(1)
指揮法A	(2)	PA教職実技(聴音・音楽理論)	(1)
指揮法B	(2)	PA教職実技(初見視唱・初見視奏)	(1)
指揮法	(2)	PAミュージカル	(1)
音楽ジャーナリズム	(2)	PAキリスト教音楽	(1)
医療と音楽	(2)	PAピアノデュオ	(1)
心と音楽	(2)	PAフルートアンサンブル	(1)
音楽療法1	(2)	PAアンサンブル管弦楽	(2)
音楽療法2	(2)	PA室内楽	(1)
基礎演習	(1)	PA声楽アンサンブル(スタンダード)	(1)
応用演習	(1)	PA声楽アンサンブル(アドバンスト)	(1)
専門ゼミⅠ	(1)	PAオペラ	(1)
専門ゼミⅡ	(1)	PA Digital Fabrication Lab.	(1)
専門ゼミⅢ	(1)	PA Media Art	(1)
専門ゼミⅣ	(1)	PA Moving Images, Movies	(1)
学外公开发表Ⅰ	(1)	PA Internet of Things	(1)
学外公开发表Ⅱ	(1)	PA AI Technology and Music	(1)
公开发表・公開演奏	(1)	PA Digital Technology Marketing	(1)

2019年度以降入学者

音楽の基礎知識	(2)	合唱ⅡB	(1)
音楽基礎理論	(2)	身体の科学	(2)
合唱ⅠA	(1)	英語で音楽理論	(2)
合唱ⅠB	(1)	ポピュラー音楽理論	(2)
基礎声楽A	(1)	邦楽1	(1)
基礎声楽B	(1)	邦楽2	(1)
基礎ピアノA	(1)	コンピュータ音楽制作2	(2)
基礎ピアノB	(1)	楽曲分析	(2)
和声ⅠA	(2)	対位法	(2)
和声ⅠB	(2)	合奏	(1)
ソルフェージュA	(1)	演奏表現ワークショップ(クラシック)	(2)
ソルフェージュB	(1)	西洋音楽通史	(4)
ポピュラー音楽入門	(2)	日本音楽通史	(4)
コンピュータ音楽制作1	(2)	公開講座・コンサート鑑賞	(2)
賛美歌学	(2)	諸民族の音楽A	(2)
賛美歌を作ろう	(2)	諸民族の音楽B	(2)
キリスト教音楽研究A	(2)	音楽と歴史1	(2)
キリスト教音楽研究B	(2)	音楽と歴史2	(2)
キリスト教音楽概論	(2)	音楽と歴史3	(2)
キリスト教音楽実践A	(2)	ポピュラー音楽史	(2)
キリスト教音楽実践B	(2)	映画舞台音楽論	(2)
和声ⅡA	(2)	音楽ジャーナリズム	(2)
和声ⅡB	(2)	医療と音楽	(2)
伴奏法A	(1)	心と音楽	(2)
伴奏法B	(1)	音楽療法1	(2)
合唱ⅡA	(1)	音楽療法2	(2)

メディア・アート	(2)	PAピアノデュオ	(1)
アニメ・ゲーム音楽制作	(2)	PAアンサンブル弦楽	(1)
アート・マネジメント	(2)	PAフルートアンサンブル	(1)
音楽とデザイン	(2)	PAアンサンブル管楽	(1)
音楽ビジネス	(2)	PAアンサンブル管弦楽	(2)
音楽とインターネット	(2)	PA室内楽	(1)
環境音楽デザイン	(2)	PAミュージカル	(1)
ステージパフォーマンス・ワークショップ	(2)	PAキーボード・インプロヴィゼーション	(1)
映像音楽制作ワークショップA	(2)	PA声楽アンサンブル (スタンダード)	(1)
映像音楽制作ワークショップB	(2)	PA声楽アンサンブル (アドバンスト)	(1)
音響機器ワークショップ	(2)	PAオペラ	(1)
録音実技ワークショップ	(2)	PA Digital Fabrication Lab.	(1)
アナウンス・朗読	(2)	PA Media Art	(1)
声の仕事	(2)	PA Moving Images, Movies	(1)
ミュージカルレパートリー・ワークショップ	(2)	PA Internet of Things	(1)
バンドを楽しもう	(2)	PA AI Technology and Music	(1)
音楽と身体表現	(2)	PA Digital Technology Marketing	(1)
音楽と脳科学	(2)	PA個人実技 15 (声楽)	(1)
共演芸術 1 A	(2)	PA個人実技 15 (伴奏法)	(1)
共演芸術 1 B	(2)	PA個人実技 15 (器楽)	(1)
共演芸術 2 A	(2)	PA個人実技 15 (室内楽)	(1)
共演芸術 2 B	(2)	PA個人実技 15 (作編曲)	(1)
ジャズ・ヴォーカル・ワークショップ	(2)	PA個人実技 15 (邦楽)	(1)
作・編曲法	(2)	PA個人実技 15 (その他)	(1)
コーラスリーダー・ワークショップ	(2)	PA個人実技 30 (声楽)	(2)
音楽起業ワークショップ	(2)	PA個人実技 30 (伴奏法)	(2)
英語で音楽ビジネス	(2)	PA個人実技 30 (器楽)	(2)
指揮法	(2)	PA個人実技 30 (室内楽)	(2)
合唱Ⅲ A	(1)	PA個人実技 30 (作編曲)	(2)
合唱Ⅲ B	(1)	PA個人実技 30 (邦楽)	(2)
ピアノ指導ワークショップ	(2)	PA個人実技 30 (その他)	(2)
リトミック指導ワークショップ	(2)	PA個人実技 45 (声楽)	(3)
基礎演習	(1)	PA個人実技 45 (伴奏法)	(3)
応用演習	(1)	PA個人実技 45 (器楽)	(3)
公開発表・公開演奏	(1)	PA個人実技 45 (室内楽)	(3)
専門ゼミ I	(1)	PA個人実技 45 (作編曲)	(3)
専門ゼミ II	(1)	PA個人実技 45 (邦楽)	(3)
専門ゼミ III	(1)	PA個人実技 45 (その他)	(3)
専門ゼミ IV	(1)	PA副科グループ実技(バレエ)	(1)
卒業プロジェクト	(6)	PA第2専攻グループ実技(バレエ基礎)	(2)
PA教職実技 (声楽)	(1)	PA第2専攻グループ実技(バレエ応用)	(3)
PA教職実技 (ピアノ)	(1)	PA副科グループ実技(ダンス)	(1)
PA教職実技 (伴奏・即興演奏)	(1)	PA第2専攻グループ実技(ダンス基礎)	(2)
PA教職実技 (聴音・音楽理論)	(1)	PA第2専攻グループ実技(ダンス応用)	(3)
PA教職実技 (初見視唱・初見視奏)	(1)		
PAキリスト教音楽	(1)		

E 音楽学部演奏学科

2018年度以前入学者

専攻実技 (声楽) I A	(3)	専攻実技 (声楽) I B	(3)
---------------	-----	---------------	-----

専攻実技 (声楽) II A	(3)	フェリス・レーヤーズ・オン・ステージ [アドヴァンス]	(3)
専攻実技 (声楽) II B	(3)	ピアノデュオ	(1)
専攻実技 (声楽) III A	(3)	フルートアンサンブル	(1)
専攻実技 (声楽) III B	(3)	アンサンブル管弦楽	(2)
専攻実技 (声楽) IV A	(3)	合唱III A	(1)
専攻実技 (声楽) IV B	(3)	合唱III B	(1)
専攻実技 (鍵盤楽器) I A	(3)	室内楽	(1)
専攻実技 (鍵盤楽器) I B	(3)	声楽アンサンブル (スタンダード)	(1)
専攻実技 (鍵盤楽器) II A	(3)	声楽アンサンブル (アドバンス)	(1)
専攻実技 (鍵盤楽器) II B	(3)	バロックアンサンブルA	(1)
専攻実技 (鍵盤楽器) III A	(3)	バロックアンサンブルB	(1)
専攻実技 (鍵盤楽器) III B	(3)	伴奏実習	(1)
専攻実技 (鍵盤楽器) IV A	(3)	ピアノレパートリーA	(1)
専攻実技 (鍵盤楽器) IV B	(3)	ピアノレパートリーB	(1)
専攻実技 (弦楽器) I A	(3)	バロック鍵盤音楽レパートリーA	(1)
専攻実技 (弦楽器) I B	(3)	バロック鍵盤音楽レパートリーB	(1)
専攻実技 (弦楽器) II A	(3)	声楽レパートリー1 A	(1)
専攻実技 (弦楽器) II B	(3)	声楽レパートリー1 B	(1)
専攻実技 (弦楽器) III A	(3)	声楽レパートリー2 A	(1)
専攻実技 (弦楽器) III B	(3)	声楽レパートリー2 B	(1)
専攻実技 (弦楽器) IV A	(3)	オペラ	(1)
専攻実技 (弦楽器) IV B	(3)	オラトリオ演習A	(1)
専攻実技 (管楽器) I A	(3)	オラトリオ演習B	(1)
専攻実技 (管楽器) I B	(3)	キリスト教音楽	(1)
専攻実技 (管楽器) II A	(3)	演奏アドヴァンスI A	(2)
専攻実技 (管楽器) II B	(3)	演奏アドヴァンスI B	(2)
専攻実技 (管楽器) III A	(3)	演奏アドヴァンスII A	(2)
専攻実技 (管楽器) III B	(3)	演奏アドヴァンスII B	(2)
専攻実技 (管楽器) IV A	(3)	客員教授特別講義	(2)
専攻実技 (管楽器) IV B	(3)	西洋音楽通史	(4)
導入セミナー	(1)	日本音楽通史	(4)
和声 I A	(2)	国内音楽研修	(1)
和声 I B	(2)	海外音楽研修	(2)
和声 II A	(2)	諸民族の音楽A	(2)
和声 II B	(2)	諸民族の音楽B	(2)
合唱 I A	(1)	キリスト教音楽概論	(2)
合唱 I B	(1)	対位法A	(2)
合唱 II A	(1)	対位法B	(2)
合唱 II B	(1)	対位法	(2)
ソルフェージュA	(1)	楽曲分析A	(2)
ソルフェージュB	(1)	楽曲分析B	(2)
演奏のためのからだづくりA	(1)	楽曲分析	(2)
演奏のためのからだづくりB	(1)	共演芸術A	(2)
2年次修了公開演奏	(2)	共演芸術B	(2)
卒業公開演奏	(4)	共演芸術1 A	(2)
室内楽の夕べ	(2)	共演芸術1 B	(2)
オーケストラ協演の夕べ	(3)	共演芸術2 A	(2)
学内公開演奏	(1)	共演芸術2 B	(2)
学外公開演奏	(1)	キリスト教音楽研究A	(2)
演奏ボランティア	(1)	キリスト教音楽研究B	(2)
フェリス・レーヤーズ・オン・ステージ [スタンダード]	(2)	現代音楽レパートリー	(2)

アーティストのための身体表現A	(2)	作・編曲法	(2)
アーティストのための身体表現B	(2)	編曲のテクニック	(2)
演奏スペシャル講義1 A	(2)	キーボードハーモニーA	(2)
演奏スペシャル講義1 B	(2)	キーボードハーモニーB	(2)
演奏スペシャル講義2 A	(2)	邦楽1	(1)
演奏スペシャル講義2 B	(2)	邦楽2	(1)
副科ピアノクラスA	(1)	PA副科個人実技A	(2)
副科ピアノクラスB	(1)	PA副科個人実技B	(2)
副科声楽クラスA	(1)	PA教職副科個人実技A	(1)
副科声楽クラスB	(1)	PA教職副科個人実技B	(1)
伴奏法A	(1)	PA第2専攻個人実技A	(3)
伴奏法B	(1)	PA第2専攻個人実技B	(3)
ピアノ指導ワークショップA	(2)	PA副科グループ実技(バレエ)	(1)
ピアノ指導ワークショップB	(2)	PA第2専攻グループ実技(バレエ基礎)	(2)
ピアノ指導ワークショップ	(2)	PA第2専攻グループ実技(バレエ応用)	(3)
幼児リトミック指導ワークショップA	(2)	PAアンサンブル弦楽	(1)
幼児リトミック指導ワークショップB	(2)	PAアンサンブル管楽	(1)
リトミック指導ワークショップ	(2)	PAキーボード・インプロヴィゼーション	(1)
コーラスリーダー・ワークショップ	(2)	PA副科グループ実技(ダンス)	(1)
指揮法A	(2)	PA第2専攻グループ実技(ダンス基礎)	(2)
指揮法B	(2)	PA第2専攻グループ実技(ダンス応用)	(3)
指揮法	(2)		

F 国際交流学部国際交流学科  
2007～2013年度入学者

導入演習	(1)	海外環境フィールド実習	(2)
研究入門(国際交流学部での学び)	(2)	海外エコツーリズム実習	(2)
研究入門(時事問題を学ぶ)	(2)	国際移民・労働移動	(2)
研究入門(歴史から見る現代世界)	(2)	在日外国人	(2)
基礎演習	(1)	文化交流論A	(2)
人文地理学	(2)	文化交流論B	(2)
自然地理学	(2)	余暇と旅行	(2)
地誌	(2)	観光文化論	(2)
地球環境	(2)	スポーツと国際社会	(2)
環境と開発問題	(2)	比較スポーツ論	(2)
中国の環境と開発	(2)	民族問題	(2)
アジアの環境問題1	(2)	文化摩擦	(2)
アジアの環境問題2	(2)	平和思想と運動	(2)
環境保全行動論	(2)	軍縮問題	(2)
環境と社会	(2)	平和構築	(2)
ジェンダーと持続可能な開発	(2)	人権と世界政治	(2)
資源問題	(2)	ジェンダーと法	(2)
人口問題	(2)	現代社会を理解するためのジェンダー理論	(2)
家族計画・保健	(2)	都市生活の空間デザイン	(2)
家族・福祉	(2)	住空間デザイン	(2)
格差社会とアイデンティティー	(2)	北ヨーロッパの福祉社会	(2)
若者の労働環境	(2)	プロジェクトで学ぶ現代社会	(2)
グリーン経済への転換A	(2)	人間環境特殊講義	(2)
グリーン経済への転換B	(2)	地域ブランドの育て方	(2)
地域と食文化	(2)	国際ブランド・ビジネス	(2)
身近な環境を知る	(2)	地域社会研究B	(2)

英語文献講読 (地域社会)	(2)	ヨーロッパ世界の思想・宗教1 (キリスト教)	(2)
世界史概説A	(2)	ヨーロッパ世界の思想・宗教2 (近・現代思潮)	(2)
世界史概説B	(2)	ヨーロッパ世界の文化2 (芸術) A	(2)
現代文化論A	(2)	ヨーロッパ世界の文化3 (文学と言語) A	(2)
現代社会論A	(2)	ヨーロッパ世界の文化3 (文学と言語) B	(2)
現代社会論B	(2)	ヨーロッパの文化と社会	(2)
世界宗教論	(2)	ヨーロッパ現地実習	(2)
日本史概説A	(2)	イギリス史A	(2)
日本史概説B	(2)	イギリス史B	(2)
近代日本と国際関係	(2)	イギリス史C	(2)
現代日本と国際関係	(2)	現代イギリス論	(2)
日本文化の原風景	(2)	イギリスの政治と社会1	(2)
現代社会に見る日本文化	(2)	イギリスの政治と社会2	(2)
日本の文化交流	(2)	イギリスの思想と宗教	(2)
日本の行政・地方自治法A	(2)	イギリス文化論総説A	(2)
日本経済論	(2)	アメリカの文化1	(2)
横浜学総論	(2)	アメリカの文化2	(2)
横浜学実習	(2)	アメリカ史1	(2)
アジア近・現代史A	(2)	アメリカ史2	(2)
アジア近・現代史B	(2)	アメリカの政治と社会1	(2)
中国近代史	(2)	アメリカの政治と社会2	(2)
中国現代史	(2)	アメリカの思想・宗教A	(2)
韓国現代史	(2)	アメリカと国際経済	(2)
北朝鮮現代史	(2)	現代アメリカ論1	(2)
東南アジアと日本の国際協力	(2)	現代アメリカ論2	(2)
アジアの政治と社会4 (東南アジア研究2) A	(2)	Spring Abroad	(2)
南アジアの経済	(2)	カナダの社会	(2)
南アジアの労働	(2)	ラテンアメリカの歴史と文化	(2)
アジアの思想・宗教1 (仏教) A	(2)	ラテンアメリカの文化と社会	(2)
儒教と世界	(2)	オーストラリアの社会と文化1	(2)
前近代の中国思想	(2)	オーストラリアの社会と文化2	(2)
アジアの思想・宗教3 (イスラム)	(2)	オーストラリア現地実習	(2)
中国の文化と社会	(2)	アフリカの政治と社会	(2)
アジアの文化1 (文学)	(2)	中東の政治と社会	(2)
アジアの文化2 (芸術) A	(2)	国際交流の歴史	(2)
ことばとフィールド (ヴェトナム)	(2)	歴史からみるスペイン語圏	(2)
ことばとフィールド (タイ)	(2)	文化交流論	(2)
ことばとフィールド (インドネシア)	(2)	比較文化論から見た芸能	(2)
ことばとフィールド (フィリピン)	(2)	翻訳と文化	(2)
アジア現地実習	(2)	歴史からみるフランス	(2)
ヨーロッパ近代史	(2)	歴史からみるドイツ	(2)
ヨーロッパ現代史	(2)	中国社会の現状を考える	(2)
ヨーロッパ政治の基礎	(2)	韓国の文化と社会	(2)
ヨーロッパ統合論	(2)	思想文化論	(2)
ヨーロッパ女性論	(2)	文化交流特殊講義	(2)
フランスの政治	(2)	国際社会研究A	(2)
フランス現代史	(2)	国際社会研究B	(2)
ヨーロッパ地域論	(2)	Globalization Studies	(2)
スペイン現代史	(2)	英語文献講読 (国際社会)	(2)
ヨーロッパ世界の政治と社会3 (ロシア・東欧研究) A	(2)	国際関係論	(2)
ヨーロッパ世界の政治と社会4 (北極研究) A	(2)	国際法A	(2)

国際法B	(2)	コーポレート・ガバナンスと日本企業	(2)
法でみる世界A	(2)	金融入門	(2)
法でみる世界B	(2)	社会学概論A	(2)
比較人権論	(2)	社会学概論B	(2)
比較政治制度論	(2)	国際社会学A	(2)
国際人権法	(2)	国際社会学B	(2)
国際政治の基礎	(2)	開発援助論	(2)
国際政治の見方	(2)	国際開発の理論と実践	(2)
国際機構と国際平和	(2)	国際協力論	(2)
国際機構とグローバル・イシューズ	(2)	地域の国際交流・協力	(2)
国際統合論	(2)	国際交通論	(2)
環境と開発問題の平和学	(2)	システム開発とプログラミング	(2)
国際関係史A	(2)	社会統計学A	(2)
国際関係史B	(2)	社会統計学B	(2)
日米外交史	(2)	戦争と平和の学説史	(2)
政治思想史A	(2)	グローバル社会経済論	(2)
政治思想史B	(2)	Webとマーケティング	(2)
国際政治経済学A	(2)	国際情報流通論	(2)
国際政治経済学B	(2)	国際情報処理演習	(1)
国際経済学	(2)	国際交流への招待	(2)
途上国と開発経済学	(2)	英語で学ぶ人文科学	(2)
近代グローバル経済の発展	(2)	市民参加の社会形成	(2)
現代グローバル経済の発展	(2)	国際協力特殊講義	(2)
政治学概論	(2)	専門演習	(1)
国際ビジネス論A	(2)	卒業論文	(6)

2014年度以降入学者

導入演習	(1)	日本経済の歴史	(2)
研究入門（国際交流学部での学び）	(2)	現代の日本経済	(2)
研究入門（時事問題を学ぶ）	(2)	東アジア・東南アジアの近・現代史A	(2)
研究入門（歴史から見る現代世界）	(2)	東アジア・東南アジアの近・現代史B	(2)
基礎演習	(1)	ヨーロッパ近代史	(2)
国際交流への招待	(2)	ヨーロッパ現代史	(2)
国際関係論	(2)	横浜学総論	(2)
人権保障と法	(2)	ジェンダーと法	(2)
政治学概論	(2)	現代社会を理解するためのジェンダー理論	(2)
近代国際関係史	(2)	地球環境	(2)
戦後国際関係史	(2)	環境と開発問題	(2)
グローバル化と労働	(2)	世界の人口問題	(2)
グローバル化と生活	(2)	平和思想と運動	(2)
社会学概論A	(2)	プロジェクトで学ぶ現代社会	(2)
社会学概論B	(2)	Current Global Affairs	(2)
グローバル化する社会	(2)	Japan Studies	(2)
グローバル経済	(2)	英語で学ぶグローバル問題	(2)
国際交流の歴史	(2)	英語で学ぶ社会科学	(2)
世界史概説A	(2)	英語で学ぶ人文科学	(2)
世界史概説B	(2)	ことばとフィールド（ヴェトナム）	(2)
世界の宗教	(2)	ことばとフィールド（タイ）	(2)
日本史概説A	(2)	ことばとフィールド（インドネシア）	(2)
日本史概説B	(2)	ことばとフィールド（フィリピン）	(2)
日本の文化交流	(2)	システム開発とプログラミング	(2)



統計で学ぶ社会問題（基礎）	(2)	アメリカの政治と社会 1	(2)
統計で学ぶ社会問題（応用）	(2)	アメリカの政治と社会 2	(2)
ヨーロッパ現地実習	(2)	アメリカと国際経済	(2)
オーストラリア現地実習	(2)	現代アメリカ論 1	(2)
Spring Abroad	(2)	現代アメリカ論 2	(2)
比較人権論	(2)	カナダの社会	(2)
比較政治制度論	(2)	アフリカを学ぶ	(2)
国際政治の基礎	(2)	中東を学ぶ	(2)
国際政治の見方	(2)	平和構築	(2)
国際機構と国際平和	(2)	人権と世界政治	(2)
国際機構とグローバル・イシューズ	(2)	安全保障	(2)
環境と開発問題の平和学	(2)	国際協力特殊講義	(2)
国際経済学	(2)	日本政治思想史	(2)
途上国と開発経済学	(2)	日本文化の原風景	(2)
近代グローバル経済の発展	(2)	現代社会に見る日本文化	(2)
現代グローバル経済の発展	(2)	儒教と世界	(2)
開発援助論	(2)	前近代の中国思想	(2)
国際開発の理論と実践	(2)	フランス現代史	(2)
戦争と平和の学説史	(2)	ラテンアメリカの歴史と文化	(2)
国際社会と法	(2)	ラテンアメリカの文化と社会	(2)
国際経済と法	(2)	文化交流論	(2)
法でみる世界A	(2)	比較文化論から見た芸能	(2)
法でみる世界B	(2)	翻訳と文化	(2)
地域統合	(2)	歴史からみるフランス	(2)
日米関係史	(2)	歴史からみるドイツ	(2)
ヨーロッパ政治思想史	(2)	アジア共同体研究	(2)
グローバル・ビジネス	(2)	メディア文化と社会	(2)
世界の格差と国際協力	(2)	若者の文化と社会	(2)
市民社会の国際協力	(2)	情報発信と世界	(2)
地域の国際交流・協力	(2)	仏教と世界	(2)
近代日本と国際関係	(2)	イスラームと世界	(2)
現代日本と国際関係	(2)	中国の文化と社会	(2)
南アジアの経済	(2)	中国の近現代文学	(2)
ヨーロッパ政治の基礎	(2)	中国の文化と芸術	(2)
ヨーロッパ統合論	(2)	中国社会の現状を考える	(2)
フランスの政治	(2)	韓国の文化と社会	(2)
歴史からみるスペイン語圏	(2)	ヨーロッパの文化と社会	(2)
南アジアの労働	(2)	ヨーロッパの文化とジェンダー	(2)
中国近代史	(2)	ヨーロッパ地域論	(2)
中国現代史	(2)	スペイン現代史	(2)
韓国現代史	(2)	ヨーロッパ世界とキリスト教	(2)
北朝鮮現代史	(2)	現代思想論	(2)
アジアの国際関係	(2)	思想文化論	(2)
東南アジアと日本の国際協力	(2)	ヨーロッパ世界の芸術	(2)
アジアの環境問題 1	(2)	ラテンアメリカの文学	(2)
アジアの環境問題 2	(2)	イギリス史 1	(2)
アジア現地実習	(2)	イギリス史 2	(2)
ユーラシアの国際関係	(2)	イギリス史 3	(2)
北ヨーロッパの歴史	(2)	現代イギリス論	(2)
イギリスの政治と社会 1	(2)	イギリスの思想と宗教	(2)
イギリスの政治と社会 2	(2)	イギリスの文化	(2)

アメリカの文化1	(2)	住空間デザイン	(2)
アメリカの文化2	(2)	環境共生型ライフスタイル	(2)
アメリカ史1	(2)	ジェンダーと持続可能な開発	(2)
アメリカ史2	(2)	資源問題	(2)
アメリカの思想と宗教	(2)	身体と生命の社会学	(2)
オーストラリアの社会と文化1	(2)	現代家族と福祉	(2)
オーストラリアの社会と文化2	(2)	北ヨーロッパの福祉社会	(2)
環境教育の理念と実践	(2)	格差社会とアイデンティティー	(2)
ロシアと現代中国	(2)	若者の労働環境	(2)
近現代中国思想と日本	(2)	英語で学ぶグリーン経済と農業	(2)
スポーツと国際社会	(2)	英語で学ぶグリーン経済とエネルギー	(2)
比較スポーツ論	(2)	地域ブランドの育て方	(2)
文化交流特殊講義	(2)	地域と食文化	(2)
市民参加の社会形成	(2)	中国の環境と開発	(2)
Globalization Studies	(2)	農環境体験実習	(2)
コーポレート・ガバナンスと日本企業	(2)	海外環境フィールド実習	(2)
金融入門	(2)	海外エコツーリズム実習	(2)
国際交通ビジネス	(2)	グローバル化する仕事と家族	(2)
Webとマーケティング	(2)	在日外国人	(2)
情報が世界を変える	(2)	余暇と旅行	(2)
情報とシステムのセキュリティ	(1)	観光文化論	(2)
横浜学実習	(2)	民族問題から見た世界情勢	(2)
地方分権と市民社会	(2)	移住と文化の理論	(2)
人文地理学	(2)	国際ブランド・ビジネス	(2)
自然地理学	(2)	人間環境特殊講義	(2)
地誌	(2)	専門演習	(1)
都市生活の空間デザイン	(2)	卒業論文	(6)

備考 2014年度入学者に適用する専門科目は、「イギリス史1」は「イギリス史A」、「イギリス史2」は「イギリス史B」、「イギリスの文化」は「イギリス文化論総説A」、「アメリカの思想と宗教」は「アメリカの思想・宗教A」と読み替える。

別表第3 (第3条関係)

教職に関する科目

( )内は単位数

2018年度以前入学者

教職入門	(2)	社会・地理歴史科教育法Ⅱ	(2)
教育原理	(2)	社会・公民科教育法Ⅰ	(2)
教育思想	(2)	社会・公民科教育法Ⅱ	(2)
教育心理学	(2)	道德教育の理論と実践	(2)
教育社会学	(2)	特別活動	(2)
教育課程論	(2)	教育方法・技術	(2)
英語科教育法Ⅰ	(4)	生徒・進路指導の理論と方法	(2)
英語科教育法Ⅱ	(4)	教育相談	(2)
国語科教育法Ⅰ	(4)	教育実習1	(1)
国語科教育法Ⅱ	(4)	教育実習2	(2)
音楽科教育法Ⅰ	(4)	教育実習3	(2)
音楽科教育法Ⅱ	(4)	教職実践演習(中・高)	(2)
社会・地理歴史科教育法Ⅰ	(2)		

2019年度以降入学者

英語科教育法Ⅰ	(4)	教育心理学	(2)
英語科教育法Ⅱ	(4)	特別支援教育の基礎と方法	(1)
国語科教育法Ⅰ	(4)	教育課程論	(2)
国語科教育法Ⅱ	(4)	道德教育の理論と実践	(2)
音楽科教育法Ⅰ	(4)	総合的な学習の時間の指導法	(1)
音楽科教育法Ⅱ	(4)	特別活動	(2)
社会・地理歴史科教育法Ⅰ	(2)	教育方法・技術	(2)
社会・地理歴史科教育法Ⅱ	(2)	生徒・進路指導の理論と方法	(2)
社会・公民科教育法Ⅰ	(2)	教育相談	(2)
社会・公民科教育法Ⅱ	(2)	教育実習1	(1)
教育原理	(2)	教育実習2	(2)
教育思想	(2)	教育実習3	(2)
教職入門	(2)	教職実践演習(中・高)	(2)
教育社会学	(2)		

別表第4（第3条の2関係）

日本語科目及び日本事情に関する科目

（ ）内は単位数

（外国人留学生対象）

大学で学ぶ日本語Ⅰ	(1)	日本事情A	(2)
大学で学ぶ日本語Ⅱ	(1)	日本事情B	(2)

別表第5（第18条関係）

卒業に必要な単位

A 文学部

2004～2013年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英文学科	日本文学科	コミュニケーション学 科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。
	総合課題科目	2	2	2	
	語 学 科 目	20又は22	10又は22	10又は22	
専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒業制作	6	6	6	
	選択必修科目	32	36	36	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

## 2014年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。
	総合課題科目	2	2	2	
	語 学 科 目	20又は22	10又は22	10又は22	
専 門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒業制作	6	6	6	
	選択必修科目	32	36	36	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

## 2015年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学 科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。

	総合課題科目	2	2	2	
	語学科目	20又は22	10又は22	10又は22	語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
専門科目	卒業論文又は卒業論文・卒業制作	6	6	6	
	選択必修科目	44	36	36	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2016年度入学者

区分		卒業に必要な単位数			備考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コミュニケーション 学 科	
共通科目	基礎教養科目	2	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を修得とする。
	総合課題科目	2	2	2	
	語学科目	20又は22	10又は22	10又は22	語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。

専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒 業制作	6	6	6	
	選択必修科目	44	37	36	
合計	区分の規定に 従って取得し た単位数と共 通科目、専門 科目及び教職 に関する科目 を通じて自由 に選択して取 得した単位数 の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業 科目のうち、専門科目は、所属 学部及び他学部の専門科目と する。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2017年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コミュニ ケーション 学 科	
共通 科目	CLAコア科目	8	8	8	「キリスト教Ⅰ」2単位及び「キ リスト教Ⅰ」以外のキリスト教 科目から2単位並びにキリスト 教科目以外から4単位を必修と する。
	語 学 科 目	20又は22	10又は22	10又は22	語学科目の修得単位は、卒業要 件として32単位まで認める。
専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒 業制作	6	6	6	
	選択必修科目	44	37	36	
合計	区分の規定に 従って取得し た単位数と共				自由に選択して修得する授業 科目のうち、専門科目は、所属 学部及び他学部の専門科目と



通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	する。
---	-----	-----	-----	-----

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2018年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数			備 考
		英語 英米文学科	日本語 日本文学科	コミュニケーション 学 科	
共通 科目	CLAコア科目	8	8	8	「キリスト教Ⅰ」2単位及び「キリスト教Ⅰ」以外のキリスト教科科目から2単位並びにキリスト教科科目以外から4単位を必修とする。
	語 学 科 目	20又は22	10、16 又は22	10、16 又は22	語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
専門 科目	卒業論文又は 卒業論文・卒業制作	6	6	6	
	選択必修科目	44	37	36	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、

別に定める。

B 音楽学部

2011～2013年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		音楽芸術学科	演奏学科	
共通 科目	基礎教養科目	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。
	総合課題科目	2	2	
	語 学 科 目	8	8	
専門 科目	卒業プロジェクト又は卒業公開演奏	6	6	
	2年次修了公開演奏		3	
	選択必修科目	34	46	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2014～2016年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		音楽芸術学科	演奏学科	

共通 科目	基礎教養科目	2	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。  語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	総合課題科目	2	2	
	語 学 科 目	8	8	
専門 科目	卒業プロジェクト又は卒業公開演奏	6	4	
	2年次修了公開演奏		2	
	選択必修科目	34	40	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

2017～2018年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		音楽芸術学科	演奏学科	
共通 科目	CLAコア科目	8	8	「キリスト教Ⅰ」2単位及び「キリスト教Ⅱ」以外のキリスト教科目から2単位並びにキリスト教科目以外から4単位を必修とする。  語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	語 学 科 目	8	8	

専門 科目	卒業プロジェクト又は卒業公開演奏	6	4	
	2年次修了公開演奏		2	
	選択必修科目	34	40	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

#### 2019年度以降入学者

区分		卒業に必要な単位数		備考
		音楽芸術学科		
共通 科目	CLAコア科目	8		「キリスト教Ⅰ」2単位及び「キリスト教Ⅱ」、「キリスト教Ⅲ」、「キリスト教Ⅳ」から2単位並びにキリスト教科目以外から4単位を必修とする。  語学科目の修得単位は、卒業要件として32単位まで認める。
	語学科目	10又は22		
専門 科目	卒業プロジェクト	6		
	選択必修科目	38		
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124		自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

C 国際交流学部

2009～2016年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数	備 考
		国際交流学科	
共通 科目	基礎教養科目	2	キリスト教科目については、基礎教養科目・総合課題科目から各2単位を必修とする。
	総合課題科目	2	
	語 学 科 目	10又は22	
専門 科目	卒 業 論 文	6	卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する専門科目（6単位）を修得することができる。
	必 修 科 目	8	
	選択必修科目	32	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

## 2017年度入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		国際交流学科		
共通 科目	CLAコア科目	8		「キリスト教Ⅰ」2単位及び「キリスト教Ⅰ」以外のキリスト教科目から2単位並びにキリスト教科目以外から4単位を必修とする。
	語 学 科 目	10又は22		
専門 科目	卒 業 論 文	6		卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する専門科目（6単位）を修得することができる。
	必 修 科 目	8		
	選択必修科目	32		
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124		自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

## 2018年度以降入学者

区 分		卒業に必要な単位数		備 考
		国際交流学科		
共通 科目	CLAコア科目	8		「キリスト教Ⅰ」2単位及び「キリスト教Ⅰ」以外のキリスト教科目から2単位並びにキリスト教科目以外から4単位を必修とする。
	語 学 科 目	10、16又は22		
専門 科目	卒 業 論 文	6		卒業論文（6単位）に代えて、指導教員の指定する専門科目（6単位）を修得することができる。

	必修科目	8	
	選択必修科目	32	
合計	区分の規定に従って取得した単位数と共通科目、専門科目及び教職に関する科目を通じて自由に選択して取得した単位数の合計	124	自由に選択して修得する授業科目のうち、専門科目は、所属学部及び他学部の専門科目とする。

備考 上記に定める以外の卒業要件として認められる科目区分ごとの単位数の上限については、別に定める。

**別表第6**（第35条関係）

入学検定料

入学検定料	35,000円
大学入学共通テスト 利用入学試験	15,000円

別表第7-1 (第36条の4関係)

学生納付金 (2016年度以前入学者)

A 文学部、国際交流学部

[入学金、学納金]

		前期	後期	備考
入学金		300,000円	———	入学時のみ
学納金	授業料 (基本額)	355,000円	355,000円	在学中
	実習費	7,500円	7,500円	在学中
	施設設備費	142,500円	142,500円	
納付総額	入学初年度	1,310,000円 (うち入学時 805,000円)		
	入学翌年度以降	1,010,000円		

備考

音楽学部開講の実技科目 (P A科目) を履修する者の当該学期の納入すべき授業料は、上記授業料 (基本額) にP A科目実技料を加えた額とする。なおP A科目実技料は、音楽学部学納金に定める。

[在籍料]

休学者の在籍料は、次のとおりとする。

前期	後期
181,250円	181,250円



B 音楽学部

[入学金、学納金]

1 音楽芸術学科

		前期	後期	備考
入学金		300,000円	———	入学時のみ
学納金	授業料（基本額）	355,000円	355,000円	在学中
	実習費	27,500円	27,500円	在学中
	施設設備費	220,800円	220,700円	
納付総額	入学初年度	1,506,500円（うち入学時 903,300円）		
	入学翌年度以降	1,206,500円		

2 演奏学科

		前期	後期	備考
入学金		300,000円	———	入学時のみ
学納金	授業料（基本額）	590,000円	590,000円	在学中
	実習費	55,000円	55,000円	在学中
	施設設備費	220,800円	220,700円	
納付総額	入学初年度	2,031,500円（うち入学時 1,165,800円）		
	入学翌年度以降	1,731,500円		

備考

- 1 納入すべき授業料は、実技科目の履修に応じ、上記授業料（基本額）に次のPA科目実技料を加えた額とする。

個人実技 [1 楽器等あたり]	50,000円（1 単位につき）
グループ実技	30,000円（1 単位につき）

- 2 演奏学科授業科目「専攻実技ⅠA・B～ⅣA・B」を再履修する場合、再履修料として1科目につき100,000円を納入しなければならない。ただし、修業年限を超えて在学する者については、別に定める。

[在籍料]

休学者の在籍料は、次のとおりとする。

	前期	後期
音楽芸術学科	191,250円	191,250円
演奏学科	322,500円	322,500円

別表第7-2（第36条の4関係）

学生納付金（2017年度以降入学者）

A 文学部、国際交流学部

[入学金、学納金]

		前期	後期	備考
入学金		200,000円	———	入学時のみ
学納金	授業料（基本額）	412,500円	412,500円	在学中
	施設設備費	142,500円	142,500円	
納付総額	入学初年度	1,310,000円（うち入学時 755,000円）		
	入学翌年度以降	1,110,000円		

備考

音楽学部開講の実技科目（PA科目）を履修する者の当該学期の納入すべき授業料は、上記授業料（基本額）にPA科目実技料を加えた額とする。なおPA科目実技料は、音楽学部学納金に定める。

[在籍料]

休学者の在籍料は、次のとおりとする。

前期	後期
206,250円	206,250円

B 音楽学部

[入学金、学納金]

1 音楽芸術学科

		前期	後期	備考
入学金		200,000円	———	入学時のみ
学納金	授業料（基本額）	432,500円	432,500円	在学中
	施設設備費	220,800円	220,700円	
納付総額	入学初年度	1,506,500円（うち入学時 853,300円）		
	入学翌年度以降	1,306,500円		

2 演奏学科

		前期	後期	備考
入学金		200,000円	———	入学時のみ
学納金	授業料（基本額）	695,000円	695,000円	在学中
	施設設備費	220,800円	220,700円	
納付総額	入学初年度	2,031,500円（うち入学時 1,115,800円）		
	入学翌年度以降	1,831,500円		

備考

- 1 納入すべき授業料は、実技科目の履修に応じ、上記授業料（基本額）に次のPA科目実技料を加えた額とする。

個人実技 [1 楽器等あたり]	50,000円（1 単位につき）
グループ実技	30,000円（1 単位につき）

- 2 演奏学科授業科目「専攻実技 I A・B～IV A・B」を再履修する場合、再履修料として1 科目につき100,000円を納入しなければならない。ただし、修業年限を超えて在学する者については、別に定める。

[在籍料]

休学者の在籍料は、次のとおりとする。

	前期	後期
音楽芸術学科	216,250円	216,250円
演奏学科	347,500円	347,500円

**別表第 8**（第43条関係）

## 科目等履修生受講料等

選考料 （ただし、本学卒業生及び国費留学生 は無料とする。）	5,000円
登録料・施設設備利用料	5,000円
受講料（1単位につき） 講義科目 実習又は演習科目 音楽学部実技科目	5,000円 10,000円 30,000円
単位認定料（1単位につき） 講義科目 実習又は演習科目 音楽学部実技科目	7,500円 15,000円 20,000円